

2025年度 入学者選抜課題 (予定)



総合型選抜

特待生選抜

学校推薦型選抜
(公募)

一般選抜

本冊子は2025年度入学者選抜課題（予定）のご案内です。
内容は2024年4月時点のものであり、変更が生じる可能性があります。
受験の際は、7月上旬以降に公表される「2025年度入学者選抜要項
〈総合型選抜・特待生選抜・学校推薦型選抜（公募）・一般選抜〉」を
必ずご確認ください。
なお、日程等の詳細や変更事項、オンライン式入学者選抜要項につい
ては、本学ウェブサイトで公表いたします。

昭 和 音 楽 大 学
昭和音楽大学短期大学部

昭和音楽大学 音楽学部

音楽芸術表現学科 3

① 作曲・音楽デザインコース	4
② サウンドプロデュースコース	6
③ 指揮コース	7
④ 声楽コース	8
⑤ 声とことばの創造表現コース	9
⑥ ピアノ演奏家コース	10
⑦ ピアノ指導者コース	11
⑧ ピアノミュージッククリエイターコース	12
⑨ ピアノ音楽コース	13
⑩ オルガンコース	14
⑪ 電子オルガンコース	15
⑫ 弦・管・打楽器演奏家コース	16
⑬ 弦・管・打楽器コース	22
⑭ ウインドシンフォニーコース	23
⑮ ジャズコース	28
⑯ ポップ&ロックミュージックコース	32

音楽芸術運営学科 36

⑰ アートマネジメントコース	36
⑱ 舞台スタッフコース	37
⑲ ミュージカルコース	38
⑳ バレエコース	39
㉑ 音楽療法コース	40
㉒ 音楽教養コース	41

昭和音楽大学 短期大学部

音楽科 45

① デジタルミュージックコース	46
② 声楽コース	47
③ 声とことばの創造表現コース	48
④ 合唱指導者コース	49
⑤ ピアノコース	50
⑥ 電子オルガンコース	51
⑦ 弦・管・打楽器コース	52
⑧ ウインドシンフォニーコース	53
⑨ ジャズコース	58
⑩ ポップ&ロックミュージックコース	62
⑪ バレエコース	66
⑫ 音楽教養コース	67
⑬ 音楽と社会コース	68

大学・短期大学部 共通 70

- 聴音およびコールユーブンゲン、
新曲視唱の試験実施方法…………… 70
- 特待生作文／
大学入学共通テストの利用について…………… 71
- キャンパスのご案内

昭和音楽大学 音楽学部

2025年度 入学者選抜科目

音楽芸術 表現学科

① 作曲・音楽デザインコース	4
② サウンドプロデュースコース	6
③ 指揮コース	7
④ 声楽コース	8
⑤ 声とことばの創造表現コース	9
⑥ ピアノ演奏家コース	10
⑦ ピアノ指導者コース	11
⑧ ピアノミュージッククリエイターコース	12
⑨ ピアノ音楽コース	13
⑩ オルガンコース	14
⑪ 電子オルガンコース	15
⑫ 弦・管・打楽器演奏家コース	16
⑬ 弦・管・打楽器コース	22
⑭ ウインドシンフォニーコース	23
⑮ ジャズコース	28
⑯ ポップ&ロックミュージックコース	32

音楽芸術 運営学科

⑰ アートマネジメントコース	36
⑱ 舞台スタッフコース	37
⑲ ミュージカルコース	38
⑳ バレエコース	39
㉑ 音楽療法コース	40
㉒ 音楽教養コース	41

1 作曲・音楽デザインコース【パターン①】

※芸術音楽作曲系（クラシック音楽）を主とした【パターン①】と、エレクトロニカ系（コンピュータ音楽）を主とした次ページの【パターン②】のいずれかを選択すること。

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願	特待生（11月） 学校推薦型	特待生（11月） 学校推薦型	一般	特待出願	一般
1 主科実技課題	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 作品提出および口頭試問 次の2点を出願時に提出すること。 ・楽譜による自作品を1曲【形式、編成は自由（編曲作品は除く）。】 ・作曲／制作過程の説明を含む楽曲解説。 (2) 和声および口頭試問 バス課題（60分）	※口頭試問は主科面接時に行う。	○				○		
	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 作品提出および口頭試問 次の2点を出願時に提出すること。 ・楽譜による自作品を1曲【形式、編成は自由（編曲作品は除く）。】 ・作曲／制作過程の説明を含む楽曲解説。 (2) 和声および口頭試問 (a) バス課題 (b) ソプラノ課題（各60分）	※口頭試問は主科面接時に行う。		○	○			○	○
2 楽典	筆記試験（60分）			○	○			○	○
3 ソルフェージュ課題	次の(1)～(3)のいずれか1つを選択すること。 (1) 旋律聴音2題 (2) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule（コールユーブンゲン第1巻） No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b)の中から1曲を当日指定。 (3) 新曲視唱	※聴音およびコールユーブンゲン、新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。		○	○			○	○
4 副科ピアノ	自由曲1曲	※繰り返しなし。 暗譜でなくてもよい。	○	○	○	○	○	○	○
5 主科面接	主科に対する試問（出願書類に関する内容を含む）		○	○	○	○	○	○	○
6 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記（書籍）を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない）。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○				
7 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○				○
8 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」（45分） (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」（ただし古文・漢文を除く）（45分） (c) 小論文（60分） (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(e)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は 71ページ を参照。						○	○

1 作曲・音楽デザインコース【パターン②】

※芸術音楽作曲系（クラシック音楽）を主とした前ページの【パターン①】と、エレクトロニカ系（コンピュータ音楽）を主とした【パターン②】のいずれかを選択すること。

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願	特 待 生 （11月） 特 待 生 推 薦 型	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願 一 般
1 主科実技 課題	作品提出および口頭試問 次の2点を出願時に提出すること。 ・メディア（Audio CDまたは音源データ）による自 作品を1曲【形式、編成は自由（編曲作品は除く）。】 ・作曲／制作過程の説明を含む楽曲解説。 ※記録するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュ ドライブ、SDメモリーカードのいずれか。 ※メディアの返却はしません。	※口頭試問は主科面接時に行う。	○	○	○	○	○	○
2 副科ピアノ・ 楽典・ ソルフェージュ 課題	次の(1)～(5)のいずれか1つを選択すること。 (1) 副科ピアノ 自由曲1曲（電子オルガンでも受験可） (2) 楽典 筆記試験（60分） (3) 旋律聴音 2題 (4) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule（コールユーブンゲン第1巻） No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b） の中から1曲を当日指定。 (5) 新曲視唱	※(1)の演奏は繰り返しなし。暗譜 でなくてもよい。 ※電子オルガン選択者は 15ページ 電子オルガンコースの注記を必 ず確認すること。 ※聴音およびコールユーブンゲン、 新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ド のいずれでもよい。			○		○	
3 楽 典	筆記試験（60分）				○	○		○
4 ソルフェージュ 課題	次の(1)～(3)のいずれか1つを選択すること。 (1) 旋律聴音 2題 (2) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule（コールユーブンゲン第1巻） No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b） の中から1曲を当日指定。 (3) 新曲視唱	※聴音およびコールユーブンゲン、 新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ド のいずれでもよい。			○	○		○
5 副科ピアノ	自由曲1曲（電子オルガンでも受験可）	※繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。 ※電子オルガン選択者は 15ページ 電子オルガンコースの注記を必 ず確認すること。			○	○		○
6 主 科 面 接	主科に対する試問（出願書類に関する内容を含む）		○	○	○	○	○	○
7 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記（書籍） を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の 作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項 目および楽曲解説書は認めない）。持込不可。事前によく準 備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。				○	○		
8 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接				○	○		○
9 一 般 科 目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択 して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニ ケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」（45分） (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」（ただし古文・漢文 を除く）（45分） (c) 小論文（60分） (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述 式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用 する場合、「国語」「地理歴史」 「公民」「数学」「理科」「外国語」 「情報」について、受験した科目 のうち最も高得点の科目を合否 判定に使用。判定の際、各科目 を100点満点に換算。合否判定に 使用できる科目の詳細は 71ペー ジ を参照。						○

2 サウンドプロデュースコース

(入学者選抜科目の見方)
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	同時出願・一般
1 主科実技課題	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。</p> <p>(1) 作品プレゼンテーションおよび口頭試問 出願時に提出する自作品(1曲)をもとに口頭でのプレゼンテーションを行う。(10分以内) ※次の2点を出願時に提出すること。 ・メディア(Audio CDまたは音源データ)による自作品を1曲。 ・作曲/制作過程の説明を含む楽曲解説。 ※自作品が編曲の場合は原曲名、作曲者またはアーティスト名を明記すること。 ※自作品のファイル形式は、CD-DA、WAVE、AIFF、MP3、AACのいずれか。 ※提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。 ※メディアの返却はしません。</p> <p>(2) 演奏および口頭試問 次の(a)~(i)のいずれかによる自由曲1曲(ポピュラー音楽が望ましい)を演奏すること。(4分程度) (a) ピアノ (b) ギター (c) ベース (d) サクソフォーン (e) トランペット (f) トロンボーン (g) ドラムス (h) パーカッション (i) ヴォーカル</p>	<p>※口頭試問は主科面接時に行う。</p> <p>※(2)の演奏については、暗譜でなくてもよい。ピアノ、ドラムセット等大型楽器以外は各自持参すること。</p> <p>※(2)の演奏で(a)(b)(d)(e)(f)(g)(h)を選択の場合は、ソロ演奏または音源による伴奏付き。(c)を選択の場合は、音源による伴奏付き。音源の種類はAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ただし、(d)(e)(f)は演奏する楽器を抜いた音源を提出すること。</p> <p>※(2)の演奏で(i)を選択の場合は、アカペラまたは伴奏付き。伴奏の種類は、ピアノ伴奏または音源による伴奏とする。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合はヴォーカル(主旋律)を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ただし、ピアノまたはギターによる弾き語りも可。マイクの使用は不可。ピアノ伴奏者は大学が用意する。</p> <p>※(2)の演奏の伴奏音源のファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。</p> <p>※メディアの返却はしません。</p> <p>※(2)の演奏で(b)(c)(g)(h)の設置機材については、32~35ページのポップ&ロックミュージックコースの主科実技課題詳細(楽器別)を参照すること。</p>	○	○	○	○	○	○
2 音楽理論	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。</p> <p>(1) 楽典 筆記試験(60分)</p> <p>(2) ポピュラー音楽理論 筆記試験(60分) インターバル(音程)、キー(調)、スケール(音階)、コード(和音)、トランスポーズ(移調)</p> <p>音楽基礎理論 口頭試問(主科面接時に行う) 出題範囲は楽典またはポピュラー音楽理論より、インターバル(音程)、キー(調)、スケール(音階)、コード(和音)</p>			○	○		○	○
3 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。 伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○			
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接		○	○				○
6 一般科目	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。</p> <p>(1) 本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分)</p> <p>(2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報</p>	<p>※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。</p> <p>※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。</p>					○	○

4 声楽コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	特待出願・一般
1 主科実技課題	次の(1)と(2)の両方を演奏すること。 (1)課題曲 下記の課題曲から1曲(原語)を選択。 (2)自由曲(クラシック音楽に限る) 任意の曲を1曲(原語)。下記の課題曲の中から選ぶこともできる。ただし、(1)で選択した曲を除く。	※課題曲は、いずれも決められた調〔 〕内に示す)の中から志願者が出願時に選択し、原語で暗譜とする。演奏の途中で止める場合がある。なお、(v)(w)(x)選択者のみ伴奏譜を出願時に提出すること。 ※自由曲は、原語で暗譜とする。自由曲の伴奏譜は出願時に提出すること((1)の課題曲から選択した場合も同様)。演奏の途中で止める場合がある。 ※ピアノ伴奏者は大学が用意する。	○	○	○	○	○	○
2 副科ピアノ・楽典・ソルフェージュ課題	次の(1)～(5)のいずれか1つを選択すること。 (1)副科ピアノ 自由曲1曲 (2)楽典 筆記試験(60分) (3)旋律聴音2題 (4)F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule(コールユーブンゲン第1巻 No. 50e)、52a)、53、58b)、63、69、71、77c)、83c)、84c)の中から1曲を当日指定。 (5)新曲視唱	※(1)の演奏は繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。 ※聴音およびコールユーブンゲン、新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○
3 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○			
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1)本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a)英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b)国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c)小論文(60分) (2)大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a)国語 (b)地理歴史 (c)公民 (d)数学 (e)理科 (f)外国語 (g)情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は 71ページ を参照。					○	○

主科実技課題 課題曲

(a) G. Caccini: Amor, ch'attendi?	[A dur・G dur]
(b) G. Caccini: Tu ch'hai le penne, Amore	[a moll・g moll]
(c) 作者不明: O leggiadri occhi belli	[g moll・f moll]
(d) A. Falconieri: Bella porta di rubini	[G dur・F dur]
(e) A. F. Tenaglia: Begli occhi, mercé	[e moll・d moll]
(f) S. Rosa: Vado ben spesso cangiando loco	[C dur・B dur]
(g) T. Giordani / G. Giordani: Caro mio ben	[F dur・Es dur・Des dur]
(h) F. Gasparini: Lasciar d'amarti	[g moll・f moll・d moll]
(i) G. Paisiello: Nel cor più non mi sento	[G dur・F dur・Es dur]
(j) 作者不明 / G. B. Pergolesi: Nina	[g moll・e moll・d moll]
(k) 作者不明 / A. Caldara: Sebben, crudele	[e moll・d moll・c moll]
(l) A. Scarlatti: Sento nel core	[g moll・f moll・es moll]

(m) 滝 廉太郎: 荒城の月(1・2番のみ)	[d moll・c moll]
(n) 成田 為三: 浜辺の歌(1・2番のみ)	[As dur・F dur]
(o) 山田 耕柞: かやの木山の	[D dur・C dur]
(p) 信時 潔: 行々子(よしきり)	[Fis dur・E dur]
(q) 平井康三郎: 平城山	[a moll・g moll]
(r) 中田 喜直: 夏の思い出	[F dur・D dur]
(s) 中田 喜直: 風の子供	[Des dur・B dur]
(t) 中田 喜直: むこうむこう	[F dur・Es dur]
(u) 團 伊玖磨: 花の街	[A dur・F dur]
(v) いずみたく: 見上げてごらん夜の星を	[G dur・F dur]
(w) 村井 邦彦: 翼をください	[C dur・B dur]
(x) 武満 徹: 小さな空	[F dur・Es dur]

5 声とことばの創造表現コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願 特 待 生 特 待 生 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願 一 般
1 主科実技 課題	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 次の(a)～(c)のいずれかを選択し、日本語で朗読すること(声を使った表現力、発信力をみる) (a) 高田敏子「海」 (b) 谷川俊太郎 詩集「旅」より鳥羽「何ひとつ書くことではない」 (c) 山村暮鳥「雲」より「おうい雲よ」 (2) 音楽実技 次の(a)または(b)のいずれかを選択すること。 (a) 歌唱 自由曲1曲。(声楽曲は原語に限る、暗譜でなくてもよい) (b) ポピュラー演奏 次の①～⑨による自由曲(ポピュラー曲)1曲(暗譜でなくてもよい) ① ピアノ ② ギター ③ ベース ④ サクソフォーン ⑤ トランペット ⑥ トロンボーン ⑦ ドラムス ⑧ パーカッション ⑨ ヴォーカル	※(2)の音楽実技について (a)の場合、ピアノ伴奏者は大学が用意。出願時に伴奏譜を提出すること。 (b)の場合、ピアノ、ドラムセット等大型楽器以外は各自持参すること。 ①②④⑤⑥⑦⑧はソロ演奏または音源による伴奏付き。 ⑨は音源による伴奏付き。 音源の種類はAudioCDまたは音源ファイルを出願時に提出。ただし、④～⑥は演奏する楽器を抜いた音源を提出すること。 ⑨はソロ(無伴奏)またはピアノか音源による伴奏付き。ピアノ伴奏者は大学が用意する。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合はヴォーカルを抜いたAudioCDまたは音源ファイルを出願時に提出すること。 ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカード。演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○
2 主科面接	声とことばの創造表現について、希望する分野への関心・意欲・学びたいことなどに関する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○			
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
5 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は 71ページ を参照。					○	○

6 ピアノ演奏家コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願・特待生・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	特待出願・一般
1 主科実技課題	次の(1)～(3)のすべてを演奏すること。 (1) バッハ J. S. Bach: Das wohltemperierte Clavier (Klavier) (平均律クラヴィーア曲集) 第1巻および第2巻の中から任意の1曲。プレリュードとフーガの両方。 (2) エチュード 次の(a)または(b)の曲集のいずれかから任意の1曲。 (a) F. Chopin: 12 Etudes, Op. 10 (ショパン: 12の練習曲集) (b) F. Chopin: 12 Etudes, Op. 25 (ショパン: 12の練習曲集) (3) 自由曲 (複数の作品も可。10分程度にまとめること。)	※(1)は繰り返しなしで暗譜とする。 ※(2)は暗譜とする。 ※(3)は原則として、繰り返しなしで暗譜とする。 ※(1)(2)(3)の順で演奏すること。演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○
2 楽典・ソルフェージュ課題	次の(1)～(5)のいずれか1つを選択すること。 (1) 楽典 筆記試験(60分) (2) 聴音 旋律聴音2題、および和声聴音1題(上三声密集四声体) (3) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユープンゲン第1巻) No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b)の中から1曲を当日指定。 (4) 新曲視唱 (5) 初見演奏 (16～24小節程度、調号#b2つまで。予見時間30秒)	※聴音およびコールユープンゲン、新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○
3 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。 伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○			
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(e)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は 71ページ を参照。						○ ○

7 ピアノ指導者コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願	特 待 生 校 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願	一 般
1 主科実技 課題	次の(1)と(2)の両方を演奏すること。 (1)(a)～(g)のいずれかの曲集の中から、任意の1曲を選択する。 (a) J. S. Bach: Das wohltemperierte Clavier (Klavier) 平均律クラヴィア曲集第1巻および第2巻の中から任意の一曲のうち、フーガのみ。 (b) J. S. Bach: Sinfonien (シンフォニア) BWV787～801 (c) C. Czerny: Die Kunst der Fingerfertigkeit, Op. 740 (699) (ツェルニー: 50番練習曲) (d) J. B. Cramer / Bülow: 60 Ausgewählte Etüden (クラマラー=ビューロー: 60の練習曲) (e) M. Clementi: Gradus ad Parnassum, Op. 44 (クレメンティ: グラドゥス・アド・パルナッスム) (f) F. Chopin: 12 Etudes, Op. 10 (ショパン: 12の練習曲集) (g) F. Chopin: 12 Etudes, Op. 25 (ショパン: 12の練習曲集) (2) 自由曲 (複数の作品も可。10分以内にまとめること。)	※(1)(2)は繰り返しなしで暗譜とする。 ※(1)(2)の順で演奏すること。演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○	○	○
2 楽典・ ソルフェージュ 課題	次の(1)～(5)のいずれか1つを選択すること。 (1) 楽典 筆記試験 (60分) (2) 聴音 旋律聴音2題、および和声聴音1題(上三声密集四声体) (3) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユープンゲン第1巻) No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b)の中から1曲を当日指定。 (4) 新曲視唱 (5) 初見演奏 (16～24小節程度、調号# b 2つまで。予見時間30秒)	※聴音およびコールユープンゲン、新曲視唱の実施方法は70ページを参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○	○	○
3 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。 伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。				○	○				
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接				○	○				○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。							○	○

8 ピアノミュージッククリエイターコース

(入学者選抜科目の見方)
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願	特 待 生 学 校 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願 一 般
1 主科実技 課題	次の(1)～(3)のいずれか1つを選択し、演奏すること。 (1)自由曲(10分以内、複数曲可)。ジャンルは問わない。 (2)自作品(ソロ曲3分程度、出願時に楽譜を提出する)。 (3)即興演奏(2分程度)。冒頭数小節のモチーフを当日出題。	※(1)(2)は繰り返しなしで、暗譜でなくてもよい。 ※演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○	○
2 楽典・ ソルフェージュ 課題	次の(1)～(5)のいずれか1つを選択すること。 (1)楽典 筆記試験(60分) (2)聴音 旋律聴音2題、および和声聴音1題(上三声密集四声体) (3)F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユーブンゲン第1巻 No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b) の中から1曲を当日指定。 (4)新曲視唱 (5)初見演奏 (16～24小節程度、調号#b2つまで。予見時間30秒)	※聴音およびコールユーブンゲン、 新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ド のいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○	○
3 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。 伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○				
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○				○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1)本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a)英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b)国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c)小論文(60分) (2)大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a)国語 (b)地理歴史 (c)公民 (d)数学 (e)理科 (f)外国語 (g)情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は 71ページ を参照。						○	○

9 ピアノ音楽コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願 特 待 生 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願 特 待 生 一 般
1 主科実技課題	自由曲（10分以内、複数曲可）	※繰り返しなしで、暗譜でなくてもよい。演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○
2 楽典・ソルフェージュ課題	次の(1)～(5)のいずれか1つを選択すること。 (1) 楽典 筆記試験（60分） (2) 聴音 旋律聴音2題、および和声聴音1題（上三声密集四声体） (3) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule（コールユーブンゲン第1巻） No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b)の中から1曲を当日指定。 (4) 新曲視唱 (5) 初見演奏 （16～24小節程度、調号# b 2つまで。予見時間30秒）	※聴音およびコールユーブンゲン、新曲視唱の実施方法は70ページを参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○
3 主科面接	主科に対する試問（出願書類に関する内容を含む）		○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記（書籍）を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。 伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない）。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○			
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」（45分） (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」（ただし古文・漢文を除く）（45分） (c) 小論文（60分） (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。					○	○

10 オルガンコース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願 特待・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	特待・一般
1 主科実技課題	A. オルガンで受験する場合。 J. S. Bach のオルガン作品から任意の1曲。	※暗譜でなくてもよい。						
	B. ピアノで受験する場合。 次の(1)と(2)の両方を演奏すること。 (1) J. S. Bach: Sinfonien (シンフォニア) BWV787~801 から任意の1曲。 (2) J. S. Bach: Das wohltemperierte Clavier (Klavier) (平均律クラヴィーア曲集) 第1巻 および第2巻から任意の1曲。フーガのみ。	※暗譜でなくてもよい。	○	○	○	○	○	○
2 楽典・ソルフェージュ課題	次の(1)～(4)のいずれか1つを選択すること。 (1) 楽典 筆記試験 (60分) (2) 聴音 旋律聴音2題、および和声聴音1題(上三声密集四声体) (3) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユーブンゲン第1巻) No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b) の中から1曲を当日指定。 (4) 新曲視唱	※聴音およびコールユーブンゲン、 新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ド のいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○
3 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。 伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○			
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述 式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は 71ページ を参照。					○	○

11 電子オルガンコース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願	特 待 生 校 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願	一 般
1 主科実技 課題	自由曲2曲、両方合わせて5～10分演奏すること。	※暗譜とする。演奏の途中で止める場合がある。 ※使用機種は、以下の中から出願の際に選択すること。 ・YAMAHA ELS-02C ・YAMAHA ELS-02X ・データメディアは音色およびシーケンス用データとしてのみ使用可。 自動演奏は不可。 ・当日使用可能な記憶メディア(ストレージ)は、USBフラッシュメモリーのみ(スマートメディア、フロッピーディスクは使用不可)。 ・使用機種について、追加・変更がある場合は本学ウェブサイト等でお知らせします。	○	○	○	○	○	○	○	○
2 楽典・ ソルフェージュ 課題	次の(1)～(4)のいずれか1つを選択すること。 (1)楽典 筆記試験(60分) (2)聴音 旋律聴音2題 (3)F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユープンゲン第1巻) No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b)の中から1曲を当日指定。 (4)新曲視唱	※聴音およびコールユープンゲン、新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○	○	○
3 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。 伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。				○	○				
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接				○	○				○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1)本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a)英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b)国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c)小論文(60分) (2)大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a)国語 (b)地理歴史 (c)公民 (d)数学 (e)理科 (f)外国語 (g)情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は 71ページ を参照。							○	○

12 弦・管・打楽器演奏家コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願・特待・学校推薦型	特待生(1ヶ月)	学校推薦型	一般	同時出願
1 主科実技課題	下記の「主科実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択すること(16~21ページ)。	※受験曲の演奏には必ずしも伴奏を付ける必要はないが、伴奏を付ける場合は各自同伴すること。 ※課題により演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○
2 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○			
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
5 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。					○	○

主科実技課題詳細 (楽器別)

ヴァイオリン

1) 音階

C. Flesch: Scale Systemから、任意の長調または短調を選択し、次の内容を演奏すること。(暗譜)

- 第5番: すべて
 - 第6番、第7番、第8番、第9番: 冒頭から第4小節まで
 - 第10番: すべて
- ただし、スラー、リズムは八長調に準ずる。

2) 課題曲

次の(a)および(b)を両方とも演奏すること。(暗譜)

- (a) N. Paganini: 24 Capricesから任意の1曲。
- (b) 任意のヴァイオリン協奏曲から1つの楽章。(緩徐楽章を除く)

ヴィオラ

1) 音階

C. Flesch: Scale System (Carl Fischer社出版のヴィオラ編曲版)から任意の調を選択し、次の内容を演奏すること。(暗譜)

- 第5番: すべて (♩=80以上のテンポで)

- 第6番、第7番、第8番: 冒頭から第4小節まで (♩=40~50のテンポで)

ただし、すべてレガートで演奏すること。第5番は1小節ずつスラー、第6番、第7番、第8番は1拍ずつスラーとする。フィンガリングは自由。

2) 課題曲

次の(a)~(c)のいずれか1曲を選択し、第1楽章(カデンツァ付き)を演奏すること。(暗譜)

- (a) W. Walton: Viola Concerto
- (b) P. Hindemith: Der Schwanendreher
- (c) B. Bartók: Viola Concerto, BB128 (Boosey & Hawkes版)

チェロ

1) 音階

J. Loeb: Gammes et arpègesから任意の調を選択し、次の(a)~(d)を演奏すること。(暗譜)

- (a) 4オクターヴの音階
- (b) 3度の重音階を3オクターヴ
- (c) 6度の重音階を3オクターヴ
- (d) 4オクターヴのアルペジオ

2) 課題曲

次の(a)および(b)を両方とも演奏すること。(暗譜)

- (a) J. S. Bach: Suites for solo violoncelloから第4番、第5番、第6番のいずれかを選択し、その"Prelude"と"Gigue"を演奏すること。
- (b) 任意のチェロ協奏曲 第1楽章

コントラバス

1) 音階

八長調の音階とアルペジオ（暗譜）

譜例

※フィンガリングは自由とする。

2) 課題曲

A. Capuzzi: Contrabass Concerto（二長調の版）(Yorke Edition 版) から第1楽章と第2楽章（暗譜でなくてもよい）

ハープ

※本学の楽器を使用すること。

1) 音階

E. Larivière: Exercices et études pour la harpe, Op. 9 から No.13, No.16, No.17 の3曲（暗譜）

2) 課題曲

次の(a)～(c)をすべて演奏すること。（暗譜）

- (a) R. N. C. Bochsa: 50 (Cinquante) études (Célèbres études pour la harpe), Op. 34 から No.1
- (b) G. F. Händel: Theme and Variations
- (c) M. Glinka: Variations on a Theme of Mozart

クラシックギター

課題曲

次の①および②を両方とも演奏すること。（暗譜）

① 次の(a)～(c)の練習曲からいずれかの1曲。

- (a) F. Sor: 20 Studies for guitar (Segovia版)
- (b) H. Villa-Lobos: 12 Etudos (12 Etudes for solo guitar)
- (c) G. Regondi: 10 Etudes

② 次の(a)～(f)の作品から1曲を選択、またはそれと同程度の曲（自由）を1曲演奏すること。

- (a) J. S. Bach: 任意のリユート組曲を1曲
- (b) F. Sor: Grand Solo, Op. 14
- (c) M. Giuliani: Grand ouverture, Op. 61
- (d) M. Castelnuovo-Tedesco: Sonata, "Omaggio a Boccherini", Op. 77
- (e) J. Rodrigo: Invocación y danza
- (f) L. Brouwer: Sonata for guitar

フルート

1) 音階

長短全調の中から、試験場において指定された調の2オクターヴの音階を、暗譜で演奏すること。（アルペジオを含む。短調は和声的短音階。アルテス2巻を参照）

2) 課題曲

次の①および②を両方とも演奏すること。（暗譜でなくてもよい）

① 次の(a)～(d)のいずれか1曲、またはそれに準ずるもの。

- (a) A. B. Fürstenau: 24 Etüden (Bouquets des tons), Op. 125 から1曲
- (b) L. Berio: Sequenza I
- (c) S. Karg-Elert: Sonata appassionata in F sharp minor, Op. 140
- (d) A. Honegger: Danse de la chèvre

② 次の(a)～(c)のいずれか1曲を選択すること。演奏箇所は当日指定する。

- (a) W. A. Mozart: Concerto in G KV.313 より第1楽章と第2楽章（カデンツァを除く）
- (b) 尾高尚忠: Concerto より第1楽章と第2楽章
- (c) J. Ibert: Concerto より第2楽章と第3楽章

オーボエ

1) 音階

次の(a)および(b)を両方とも演奏すること。

(♩ = 80以上、暗譜)

(a) 長短全調の中から、試験場において指定された調の2オクターヴの音階を演奏すること（開始音の音域により、以下の例を参照のこと。短調は和声的短音階）。

演奏例(a) - 1 最低音「変ロ」から「1点へ」までの音域内の音で開始する場合。

譜例は八長調

演奏例(a) - 2 「1点変ト」から「1点イ」までの音域内の音で開始する場合。

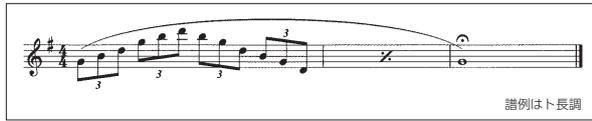
譜例はト長調

(b) 長短全調の中から、試験場において指定された調の2オクターヴのアルペジオを演奏すること。（開始音の音域により、以下の例を参照のこと）

演奏例(b) - 1 最低音「変ロ」から「1点へ」までの音域内の音で開始する場合。

譜例は八長調

演奏例 (b) - 2 「1点変ト」から「1点イ」までの音域内の音で開始する場合



2) 課題曲

次の①および②を両方とも演奏すること。(暗譜でなくてもよい)

- ① F. W. Ferling: 48 Übungen für Oboe (48 Etudes for oboe), Op. 31 から任意の奇数番号曲を1曲
- ② F. Haydn: Concerto in C major, Hob.VIIg: C 1 から第1楽章 (カデンツァを含む。出版社指定なし)

クラリネット

※バス・クラリネットでも受験可。その場合は出願書類に「バス・クラリネット」と明記すること。

1) 音階

長短全調の中から試験場において指定。(暗譜)

※参考 R. Eichler: Scales for Clarinet (国立音楽大学出版)

2) 課題曲

次の①および②を両方とも演奏すること。(計2曲、暗譜でなくてもよい)

- ① 次の(a)または(b)どちらかの曲集から任意の1曲。
 - (a) E. Cavallini: 30 Capricci (Ricordi版)
 - (b) C. Rose: 32 Etudes (全音もしくはAlphonse Leduc版)
- ② 次の(a)または(b)のいずれか1つを選択。
 - (a) C. M. v. Weber: Concerto No.1 in F minor, Op. 73 から第1楽章、Baermannのカデンツァまで(出版社指定なし)
 - (b) C. M. v. Weber: Concertino in E flat major, Op. 26 始めから111小節目まで(出版社指定なし)

ファゴット

1) 音階

長短全調の中から、試験場において指定された調の2オクターヴの音階を、暗譜で演奏すること。(短調は旋律的短音階)

2) 課題曲

次の①および②を両方とも演奏すること。(暗譜でなくてもよい)

- ① J. Weissenborn: Fagott-Studien (Bassoon Studies), Op. 8, Vol.2 第15番、第21番、第33番から任意の1曲
- ② 次の(a)~(j)から任意の1曲を選択すること。
 - (a) G. Ph. Telemann: Sonata in F minorから第1、第2楽章
 - (b) J. F. Fasch: Sonata in C major から第1、第2楽章
 - (c) A. Vivaldi: Concerto in D minor, Op.45-7 (RV.481) から第2、第3楽章
 - (d) E. Bourdeau: Premier Solo pour basson et piano
 - (e) G. Pierné: Solo de concert pour basson et piano
 - (f) C. M. v. Weber: Bassoon Concerto in F major, Op.75 から第1楽章
 - (g) A. Tansman: Sonatine pour basson et piano 全楽章
 - (h) W. A. Mozart: Bassoon Concerto in B flat major, K.191 から第1楽章 (カデンツァなし)
 - (i) C. Saint-Saëns: Sonate pour basson et piano, Op.168 から第1、第2楽章
 - (j) C. Stamitz: Bassoon Concerto in F major から第1楽章 (カデンツァあり)

サクソフォーン

1) 音階

次の(a)および(b)を両方とも演奏すること。(暗譜、短調については旋律的短音階または和声的短音階のいずれでも可。)

(a) 長短全調の中から試験場において指定された調の音階を、アーティキュレーション(当日指定)をつけて演奏すること。

(b) 当日指定された音から開始する半音階を、16分音符で全音域を使いスラーで演奏すること。(♩=120以上)

※参考 須川展也編：サクソフォーンのためのトレーニングブック(音楽之友社)

2) 課題曲

次の①および②を両方とも演奏すること。(暗譜でなくてもよい)

- ① A. Glazunov: Concerto en mi bémol pour saxophone alto (Concerto in E flat major for alto saxophone), Op. 109 (Alphonse Leduc版)、冒頭から練習番号16まで
- ② 次の(a)~(g)から任意の1曲を選択すること。
 - (a) P. Bonneau: Caprice en forme de Valse (Alphonse Leduc版)
 - (b) R. Boutry: Divertimento (Alphonse Leduc版) から第2楽章、第3楽章
 - (c) E. Bozza: Concertino (Alphonse Leduc版) から第3楽章
 - (d) P. Creston: Sonata for E flat alto saxophone, Op. 19 (Shawnee Press版) から第3楽章
 - (e) A. Désenclos: Prélude, cadence et finale (Alphonse Leduc版) から“Prélude”, “cadence”
 - (f) J. Ibert: Concertino da camera (Alphonse Leduc版) から第2楽章、練習番号28から最後まで
 - (g) J. Rueff: Sonate pour saxophone alto seul (Sonata for solo alto saxophone) (Alphonse Leduc版) から第1楽章

金管楽器共通課題

音階

譜例に従い、(a)長音階および(b)和声的短音階を演奏すること。

(長短全調の中から試験場において指定。音域についても当日指定とする。暗譜)

ホルン

1) 音階

次の(a)および(b)を両方とも演奏すること。(暗譜)

(a) 音階 (金管楽器共通課題参照)

長短全調の中から試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

(b) 次のパターンを演奏すること。(リップスラーで演奏)

2) 課題曲

次の(a)~(d)から任意の1曲を選択すること。(暗譜でなくてもよい)

(a) W. A. Mozart: Horn Concerto No.2 in E flat major, K.417 から第1楽章

(b) W. A. Mozart: Horn Concerto No.3 in E flat major, K.447 から第1楽章 (カデンツァあり)

(c) W. A. Mozart: Horn Concerto No.4 in E flat major, K.495 から第1楽章 (カデンツァあり)

(d) R. Strauss: Horn Concerto No.1 in E flat major, Op.11 から第1楽章

トランペット

1) 音階

次の(a)および(b)を両方とも演奏すること。(暗譜)

(a) 音階 (金管楽器共通課題参照)

長短全調の中から試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

(b) 次のパターンを演奏すること。(スラーで演奏)

2) 課題曲

次の(a)または(b)のどちらかを選択すること。(暗譜でなくてもよい)

(a) J. B. Arban: Complete Conservatory Method for Trumpet から、"Fantasy and Variations on *The Carnival of Venice*"のうち、Introduction, Theme, Var. I および Var. III

(b) J. N. Hummel: Trumpet Concerto in E flat major から第1楽章 (B♭管使用)

音楽芸術表現学科 | 入学者選抜科目

トロンボーン

※テナーもしくはバスのいずれかで受験すること。バスの場合は出願書類に「バス・トロンボーン」と明記すること。

1) 音階

次の(a)および(b)を両方とも演奏すること。(暗譜)

(a) 音階 (金管楽器共通課題参照)

長短全調の中から試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

(b) 次のパターンを演奏すること。(スラーで演奏)

上記を 1 ポジション ~ 7 ポジション で演奏すること。

2) 課題曲

A. テナー・トロンボーンの場合

次の(a)または(b)のどちらかを選択すること。(暗譜でなくてもよい)

(a) F. David: Concertino for trombone in E flat major, Op. 4 より第1楽章と第2楽章

(b) A. Guilmant: Concertpiece (Morceau symphonique) Op. 88 (International Music Company (IMC) 版) 全曲

B. バス・トロンボーンの場合

次の(a)または(b)のどちらかを選択すること。(暗譜でなくてもよい)

(a) F. David: Concerto for Bass Trombone in B flat major (Zimmermann 版) より第1楽章と第2楽章

(b) E. Bozza: New Orleans 全曲

ユーフォニアム

1) 音階

次の(a)および(b)を両方とも演奏すること。(暗譜)

(a) 音階 (金管楽器共通課題参照)

長短全調の中から試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

(b) 次のパターンを演奏すること。(リップスラーで演奏)

上記のパターンを半音ずつ下げながら下記の音まで演奏すること。

1 または 2
3 または 4

2) 課題曲

J. Horowitz: Euphonium Concerto 全楽章 (暗譜でなくてもよい)

チューバ

※E^b, F, C, B^b 管のいずれでも受験可。

1) 音階

次の(a)および(b)を両方とも演奏すること。(暗譜)

(a) 音階 (金管楽器共通課題参照)

長短全調の中から試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

(b) 次のパターンを演奏すること。(スラーで演奏)

C管使用時
Andante

B[♭]管使用時
Andante

1 以下、半音ずつ下降する

1 または 2
3 または 4

2) 課題曲

D. Haddad: Suite for tuba 全曲 (暗譜でなくてもよい)

打楽器

次のA・B・Cいずれかの楽器で受験すること。【出願書類に受験楽器を記入すること】

A. 小太鼓

次の(1)および(2)を両方とも演奏すること。

(1) 小太鼓

次の(a)・(b)・(c)を演奏すること。

(a)：基礎打ち（1つ・2つ・5つ打ちのそれぞれ加減速打ち）および

（ロール *pp* ~ *crescendo* ~ *ff* ~ *diminuendo* ~ *pp*）の中から試験場で指定。

(b)：C. Wilcoxon: The All American Drummer 150 Rudimental Solos から No. 3, 9, 12, 30, 35, 38, 44, 112 のうちの2曲を試験場で指定。（暗譜でなくてもよい）

(c)：A. J. Cirone: Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare Drum から No. 4, 13, 32 のうちの1曲を試験場で指定。（暗譜でなくてもよい）

※(c)の楽譜が入手できない場合には、本学入試広報室までお問い合わせください。

(2) マリンバ

調号#・b 2つまでの長・短調の音階を試験場で指定。（音型は自由・暗譜）

長調＝主音で始まる2オクターヴ上下行を2回行い、最後の主音のトレモロで終わる。

短調＝主音で始まる和声的短音階の2オクターヴ上下行、そのまま続いて旋律的短音階で2オクターヴ上下行、最後の主音のトレモロで終わる。

=演奏例=

B. マリンバ

次の(1)および(2)を両方とも演奏すること。

(1) マリンバ

次の(a)・(b)・(c)を演奏すること。

(a)：長・短全調から音階を試験場で指定。（音型は自由・暗譜）

長調＝主音で始まる2オクターヴ上下行を2回行い、最後の主音のトレモロで終わる。

短調＝主音で始まる和声的短音階の2オクターヴ上下行、そのまま続いて旋律的短音階で2オクターヴ上下行、最後の主音のトレモロで終わる。

=演奏例=

(b)：M. Goldenberg: Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone から“39 Etudes”のNo. 1, 3, 5, 6, 7, 8 のうちの1曲を試験場で指定。（暗譜でなくてもよい）

(c)：任意の自由曲（6～7分程度）（暗譜でなくてもよい）

(2) 小太鼓

小太鼓による1つ打ち、2つ打ちの加減速打ち。

C. ティンパニ

次の(1)および(2)を両方とも演奏すること。

(1) ティンパニ

(a)：チューニング適正（当日指定した音程をつくること）

次の(b)・(c)・(d)を演奏すること。

(b)：ロール打ち *pp* ~ *crescendo* ~ *ff* ~ *diminuendo* ~ *pp*（1分程度・音程は当日指定）

(c)：簡単な指定楽譜の演奏（楽譜は当日開示）

(d)：Richard Hochrainer: Etüden für Timpani (Heft 1) (Doblinger 版) からNo.13, 19, 39, 40, 43, 44, 45 のうち2曲を試験場で指定。（暗譜でなくてもよい）

(2) 小太鼓

小太鼓による1つ打ち、2つ打ちの加減速打ち。

13 弦・管・打楽器コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	特待出願	特待一般
1 主科実技課題	23ページ以降の「主科実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択すること(23~27ページ)。	受験曲の演奏には伴奏はつけない。課題により演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○	○
2 副科ピアノ・楽典・ソルフェージュ課題	次の(1)~(5)のいずれか1つを選択すること。 (1)副科ピアノ 自由曲1曲 (2)楽典 筆記試験(60分) (3)旋律聴音2題 (4)F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユーブンゲン第1巻 No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b)の中から1曲を当日指定。 (5)新曲視唱	※(1)の演奏は繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。 ※聴音およびコールユーブンゲン、新曲視唱の実施方法は70ページを参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○	○
3 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。 伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○				
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○				○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1)本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。 (a)英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b)国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c)小論文(60分) (2)大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。 (a)国語 (b)地理歴史 (c)公民 (d)数学 (e)理科 (f)外国語 (g)情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。						○	○

14 ウインドシンフォニーコース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 特 出 願 ・ 同 特 待 生 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 特 出 願 ・ 一 般
1 主科実技課題	下記の「主科実技課題詳細（楽器別）」の中からいずれかを選択すること（23～27ページ）。	受験曲の演奏には伴奏はつけない。課題により演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○
2 副科ピアノ・楽典・ソルフェージュ課題	次の(1)～(5)のいずれか1つを選択すること。 (1) 副科ピアノ 自由曲1曲 (2) 楽典 筆記試験（60分） (3) 旋律聴音 2題 (4) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule（コールユーブンゲン第1巻）No. 43c）、45b）、48d）、49e）、50e）、52a）、53、58b）の中から1曲を当日指定。 (5) 新曲視唱	※(1)の演奏は繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。 ※聴音およびコールユーブンゲン、新曲視唱の実施方法は70ページを参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。		○	○			○
3 主科面接	主科に対する試問（出願書類に関する内容を含む）		○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記（書籍）を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない）。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○			
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」（45分） (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」（ただし古文・漢文を除く）（45分） (c) 小論文（60分） (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。					○	○

主科実技課題詳細（楽器別）

13 弦・管・打楽器コース、14 ウインドシンフォニーコース 共通

ヴァイオリン

※ヴァイオリンを第2志望とすることができる。

1) 音階

次の(a)または(b)の楽譜を使用し、任意の長調または短調の音階3オクターヴと分散和音を演奏すること。（暗譜）

(a) 小野アンナ著『ヴァイオリン音階教本』

(b) C. Flesch: Das Skalensystem für Violine

※スラー、リズムは自由。

2) 課題曲

次の(a)～(i)から任意の1曲を選び、その第1楽章または終楽章を演奏すること。（暗譜）

(a) J. S. Bach: Concerto No. 1 in A minor, BWV1041

(b) J. S. Bach: Concerto No. 2 in E major, BWV1042

(c) W. A. Mozart: Concerto No. 3 in G major, K216

(d) W. A. Mozart: Concerto No. 4 in D major, K218

(e) W. A. Mozart: Concerto No. 5 in A major, K219

(f) M. Bruch: Concerto No. 1 in G minor, Op. 26

(g) H. Wieniawski: Concerto No. 2 in D minor, Op. 22

(h) E. Lalo: Symphonie espagnole, Op. 21

(i) F. Mendelssohn: Concerto in E minor, Op. 64

※同程度か同程度以上の曲でも可。

ヴィオラ

※ヴァイオリンでも受験可。その場合、ヴァイオリンと同じ課題曲とする。

- 1) 音階
長短全調から任意の音階 3 オクターヴ (暗譜)
- 2) 課題曲
任意の独奏曲または練習曲 (暗譜)

チェロ

- 1) 音階
長短全調から任意の音階 3 オクターヴ (暗譜)
- 2) 課題曲
任意の独奏曲または練習曲 (暗譜)

コントラバス

課題曲
任意の独奏曲または練習曲 (暗譜)

ハープ

※本学の楽器を使用すること。

- 1) 音階
E. Larivière: Exercices et études, Op. 9 から No. 13, No. 14 の 2 曲 (暗譜)
- 2) 課題曲
次の (a) および (b) を両方とも演奏すること。(暗譜でなくてもよい)
(a) R. N. C. Bochsa: Quarante études faciles, Op. 318 から第 1 番または第 2 番のどちらかを当日指定。
(b) 任意の自由曲 1 曲

クラシックギター

課題曲
任意の独奏曲または練習曲 (暗譜)

フルート

- 1) 音階
長短全調の中から、試験場において指定された調の 2 オクターヴの音階を、暗譜で演奏すること。(アルペジオを含む。短調は和声的短音階。アルテス 2 巻を参照)

- 2) 課題曲
次の ① および ② を両方とも演奏すること。(暗譜でなくてもよい)
① 次の (a) ~ (c) のいずれかの練習曲集から任意の 1 曲

- (a) C. J. Andersen: 24 Studies for Flute, Op. 21
- (b) E. Köhler: 12 Medium Difficult Exercises for Flute
- (c) A. B. Fürstenau: 24 Etüden (Bouquets des tons), Op. 125
- ② 任意のフルート協奏曲から 1 つの楽章
(緩徐楽章を除く、繰り返しおよびカデンツァなし)

オーボエ

- 1) 音階
長短全調の中から、試験場において指定された調の 2 オクターヴの音階を、暗譜で演奏すること。(開始音の音域により、次の例を参照のこと。短音階は和声的短音階)
演奏例 - 1 最低音「変口」から「1 点へ」までの音域内の音で開始する場合。

演奏例 - 2 「1 点変ト」から「1 点イ」までの音域内の音で開始する場合。

- 2) 課題曲
次の練習曲から任意の奇数番号曲と偶数番号曲を 1 曲ずつ演奏すること。(計 2 曲、暗譜でなくてもよい)
F. W. Ferling: 48 Übungen für Oboe (48 Etudes for oboe), Op. 31

クラリネット

※バス・クラリネットでも受験可。その場合は出願書類に「バス・クラリネット」と明記すること。

- 1) 音階
長短全調の中から試験場において指定。(暗譜)
※参考 R. Eichler: Scales for Clarinet (国立音楽大学出版)
- 2) 課題曲
次の (a) ~ (d) のいずれか 1 つを選択。(暗譜でなくてもよい)
(a) E. Cavallini: 30 Capricci (Ricordi 版) より任意の 1 曲
(b) C. Rose: 32 Etudes (全音もしくは Alphonse Leduc 版) より任意の 1 曲
(c) C. M. v. Weber: Concerto No. 1 in F minor, Op. 73 から第 1 楽章、Baermann のカデンツァまで (出版社指定なし)
(d) C. M. v. Weber: Concertino in E flat major, Op. 26 始めから 111 小節目まで (出版社指定なし)

ファゴット

- 1) 音階
長短全調の中から、試験場において指定された調の 2 オクターヴの音階を、暗譜で演奏すること。(短調は旋律的短音階)
- 2) 課題曲
次の (a) または (b) のいずれかを選択。(暗譜でなくてもよい)
(a) J. Weissenborn: Bassoon Studies, Op. 8, Vol. II (出版社指定なし) 第 1 番 ~ 第 14 番から任意の 1 曲
(b) 任意の協奏曲またはソナタから 1 つの楽章 (繰り返し、およびカデンツァはなし)

サクソフォーン

1) 音階

次の(a)および(b)を両方とも演奏すること。(暗譜、短調については旋律的短音階または和声的短音階のいずれでも可。)

- (a) 長短全調の中から試験場において指定された音階を、全音域を使いスラーで演奏すること。
- (b) 当日指定された音からの半音音階を、16分音符で全音域を使いスラーで演奏。(♩=120以上)

※参考 須川展也編：サクソフォーンのためのトレーニングブック (音楽之友社)

2) 課題曲

次の(a)～(e)のいずれか1つを選択すること。

- (a) W. Ferling / M. Mule: 48 Etudes pour tous les saxophones から任意の奇数番号と偶数番号の曲を各々1曲ずつ (計2曲を奇数番号を先に演奏すること。暗譜)
- (b) A. Glazunov: Concerto en mi bémol pour saxophone alto (Concerto in E flat major for alto saxophone), Op.109 (Alphonse Leduc版)、冒頭から練習番号16まで
- (c) P. Creston: Sonata for E flat alto saxophone, Op.19 (Shawnee Press版) から第1楽章
- (d) J. Ibert: Concertino da camera (Alphonse Leduc版) 第1楽章
- (e) P. Maurice: Tableaux de Provence (Editions Henry Lemoine版) から第5楽章

※ (b)(c)(d)(e)については暗譜でなくてもよい。

金管楽器共通課題

音階

譜例に従い、(a) 長音階および (b) 和声的短音階を演奏すること。
(調性の指定については各楽器の欄を参照。暗譜)

2) 次のパターンを演奏すること。 (リップスラーで演奏、暗譜)

3) 課題曲

W. A. Mozart: Concerto for horn No. 3 in E flat major, K.447 から第1楽章 カデンツァなし (暗譜でなくてもよい)

トランペット

1) 音階 (金管楽器共通課題参照)

長短全調の中から試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

2) 次のパターンを演奏すること。 (スラーで演奏、暗譜)

3) 課題曲

J. B. Arban: Complete Conservatory Method for Trumpet から、"Fantasy and Variations on *The Carnival of Venice*" のうち、Introduction, Theme および Var. III (暗譜でなくてもよい)

トロンボーン

※テナーもしくはバスのいずれかで受験すること。バスの場合は出願書類に「バス・トロンボーン」と明記すること。

1) 音階 (金管楽器共通課題参照)

実音へ、ト、イを基音とする長調、短調より試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

2) 次のパターンを演奏すること。 (スラーで演奏、暗譜)

3) 課題曲

A. テナー・トロンボーンの場合

次の(a)～(d)のいずれかを1つ選択。(暗譜でなくてもよい)

ホルン

1) 音階 (金管楽器共通課題参照)

実音ハ、変口を基音とする長調、短調 (和声的短音階) より試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

音楽芸術表現学科 | 入学者選抜科目

- (a) F. David: Concertino for trombone (Zimmermann 版) から第 1 楽章
- (b) A. Guilman: Concertpiece (Morceau symphonique), Op. 88 (International Music Company (IMC) 版) 最初からカデンツァまでと最後までから40小節前の“Allegro moderato”から最後まで
- (c) B. Marcello: Sonata in A minor (International Music Company (IMC) 版) から第 1 楽章と第 4 楽章
- (d) 次の①と②を両方とも演奏すること。(すべて繰り返しなし)
 - ① J. Rochut: Melodious Etude for trombone, Book I, No. 6
 - ② C. Kopprasch: Sixty Selected Studies for trombone No. 9

B. バス・トロンボーンの場合

- 次の(a)～(d)のいずれかを1つ選択。(暗譜でなくてもよい)
- (a) O. Blume: 36 Studies for trombone with F attachment No. 2, 3, 5, 6 の中から任意の1曲
 - (b) E. Sachse: Concerto (Konzert) in F major (Zimmermann 版) 最初から練習番号Cの8小節目まで
 - (c) E. Bozza: New Orleans (Alphonse Leduc 版) 冒頭から練習番号③までと練習番号⑨から最後まで
 - (d) 次の①と②を両方とも演奏すること。(1オクターヴ下げて演奏。すべて繰り返しなし)
 - ① J. Rochut: Melodious Etude for trombone, Book I, No. 6
 - ② C. Kopprasch: Sixty Selected Studies for trombone No. 9

ユーフォニアム

- 1) 音階 (金管楽器共通課題参照)
実音へ、嬰へ、ト、変イ、イ、変ロを基音とする長調、短調より試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)
- 2) 次のパターンを演奏すること。
(リップスラーで演奏、暗譜)

3) 課題曲

- 次の(a)または(b)のいずれかを選択。(暗譜でなくてもよい)
- (a) 次のうち、①～⑥のいずれか1曲と、⑦～⑨のいずれか1曲を選択し、計2曲演奏すること。(すべて繰り返しなし)
 - C. Kopprasch: 60 Selected Studies for trombone, Book 1 (出版社指定なし) から
 - ① No. 3 ② No. 11 ③ No. 12
 - ④ No. 14 ⑤ No. 16 ⑥ No. 20
 - J. Rochut: Melodious Etudes for trombone, Book 1 (Carl Fischer 版) から
 - ⑦ No. 3 ⑧ No. 4 ⑨ No. 5
 - (b) J. B. Arban: Complete Method for trombone and euphonium から Characteristic Studies No. 1

チューバ

※ E^b, F, C, B^b 管のいずれでも受験可。

- 1) 音階 (金管楽器共通課題参照)
変イ長調、イ長調、へ短調、嬰へ短調より試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)
- 2) 次のパターンを演奏すること。
(スラーで演奏、暗譜)

3) 課題曲

- 次の(a)または(b)のいずれかを選択。(暗譜でなくてもよい)
- (a) 次のうち、①～④のいずれか1曲と、⑤～⑦のいずれか1曲を選択し、計2曲演奏すること。(すべて繰り返しなし)
 - C. Kopprasch: 60 Selected Studies for tuba (出版社指定なし) から
 - ① No. 12 “Allegro Moderato”
 - ② No. 14 “Allegro”
 - ③ No. 17 “Allegro risoluto”
 - ④ No. 21 “Moderato risoluto”
 - M. Bordini: 43 Bel Canto Studies (Robert King 版) から
 - ⑤ No. 8 “Moderato”
 - ⑥ No. 10 “Allegro Moderato”
 - ⑦ No. 14 “Andantino quasi Allegretto”
 - (b) A. Lebedjew: Concerto No. 1 for tuba and piano (出版社指定なし) カデンツァのあとの Tempo I より最後まで

打楽器

次のA・B・Cいずれかの楽器で受験すること。【出願書類に受験楽器を記入すること】

A. 小太鼓

次の(1)および(2)を両方とも演奏すること。

(1) 小太鼓

次の(a)・(b)・(c)を演奏すること。

(a)：基礎打ち（1つ打ち・2つ打ちそれぞれの加減速打ち）および
（ロール *pp* ~ *crescendo* ~ *ff* ~ *diminuendo* ~ *pp*）の中から試験場で指定。

(b)：C. Wilcoxon: The All American Drummer 150 Rudimental Solos（暗譜でなくてもよい）
2/4：No. 3, 9, 30, 44 の中から任意の1曲。
6/8：No. 12, 35, 38, 112 の中から任意の1曲。

(c)：A. J. Cirone: Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare Drum（暗譜でなくてもよい）
No. 4, 13, 19, 25, 28, 32, 37 の中から任意の1曲。

※(c)の楽譜が入手できない場合には、本学入試広報室までお問い合わせください。

(2) マリンバ

調号#・b 2つまで（C dur = 八長調を除く）の任意の長調と平行調となる短調の音階。（音型は自由・暗譜）

長調＝主音で始まる2オクターヴ上下行を2回行い、最後の主音のトレモロで終わる。

短調＝主音で始まる和声的短音階の2オクターヴ上下行、そのまま続いて旋律的短音階で2オクターヴ上下行、最後の主音のトレモロで終わる。

=演奏例=



B. マリンバ

次の(1)および(2)を両方とも演奏すること。

(1) マリンバ

次の(a)・(b)・(c)を演奏すること。

(a)：調号#・b 3つまでの長・短調の音階をそれぞれ1つずつ試験場で指定。（音型は自由・暗譜）

長調＝主音で始まる2オクターヴ上下行を2回行い、最後の主音のトレモロで終わる。

短調＝主音で始まる和声的短音階の2オクターヴ上下行、そのまま続いて旋律的短音階で2オクターヴ上下行、最後の主音のトレモロで終わる。

=演奏例=



(b)：M. Goldenberg: Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone から“39 Etudes”のNo. 1, 3, 5, 6, 7, 8のうちの任意の1曲（暗譜でなくてもよい）

(c)：任意の自由曲（6～7分程度）（暗譜でなくてもよい）

(2) 小太鼓

小太鼓による1つ打ちの加減速打ち。

C. ティンパニ

次の(1)および(2)を両方とも演奏すること。

(1) ティンパニ

(a)：チューニング適正（当日指定した音程をつくること）

次の(b)・(c)・(d)を演奏すること。

(b)：ロール打ち *pp* ~ *crescendo* ~ *ff* ~ *diminuendo* ~ *pp*（1分程度・音程は当日指定）

(c)：簡単な指定楽譜の演奏（楽譜は当日開示）

(d)：Richard Hochrainer：Etüden für Timpani (Heft 1) (Doblinger版) からNo.13, 19, 39, 40, 43, 44, 45のうちの任意の2曲（暗譜でなくてもよい）

(2) 小太鼓

小太鼓による1つ打ち、2つ打ちの加減速打ち。

15 ジャズコース

(入学者選抜科目の見方)
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願・特待・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	同時出願・一般
1 主科実技課題	下記の「主科実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択すること(28~31ページ)。 ※入学後に主専攻とする演奏実技で受験すること。	※ピアノ、ウッドベース、ドラムセットなど大型楽器以外は各自持参すること。 ※自由曲において4分を超える場合は、演奏の途中で止めることがある。 ※ドラムスのセッティングの変更は最小限にとどめること。	○	○	○	○	○	○
2 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○			
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
5 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1)本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。 (a)英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b)国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c)小論文(60分) (2)大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。 (a)国語 (b)地理歴史 (c)公民 (d)数学 (e)理科 (f)外国語 (g)情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。					○	○

主科実技課題詳細 (楽器別)

※楽器・機材は当日のコンディションによって別のものを用意する場合がある。

ピアノ

- 1) 課題曲
与えられたコード進行による演奏
(前半部 **Comping** (コードバックキング)、後半部 **Solo** (アドリブソロ))
※30ページ「ジャズコース入試課題曲」参照。
- 2) 自由曲1曲
(試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ(小節数は任意)を含める。暗譜でなくてもよい)
※ソロ演奏または音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。
※メディアの返却はしません。

ギター

- 設置機材：ギターアンプ
Roland JC-120、Fender Hot Rod Deluxe、Fender Blues Junior、Marshall (ヘッド：JVM205H キャビネット：1960A)
- 1) 課題曲
与えられたコード進行による演奏
(前半部コードバックキング、後半部ソロは必ずしもアドリブでなくてもよい)
※31ページ「ジャズコース入試課題曲」参照。
 - 2) 自由曲1曲
(試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ(小節数は任意)を含める。暗譜でなくてもよい)
※ソロ演奏または音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。
※メディアの返却はしません。

ベース

設置機材：ベースアンプ

ヘッド：aguilar TONE HAMMER 350、AMPEG B2-RE

キャビネット：AMPEG SVT810E

1) 課題曲

与えられたコード進行によるベースラインを演奏。

※31ページ「ジャズコース入試課題曲」参照。

2) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ(小節数は任意)を含める。暗譜でなくてもよい)

※音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

ドラムス

設置機材：ドラムセット

YAMAHA Birch Custom

サイズ BD:22 TT:10,12 FT:16 SD:14

Ride:Zildjian Medium 20

Crash:Zildjian Medium Thin 16,18

HH:Zildjian New Beat 14

1) 基礎打ち

シングルストローク、ダブルストローク、5ストロークを加速～減速で演奏すること。

※試験場において指定。

2) 課題曲

与えられたコード進行による演奏。

※31ページ「ジャズコース入試課題曲」参照。

3) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。暗譜でなくてもよい)

※音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

サクソフォーン

ソプラノ、アルト、テナー、バリトンのいずれも可。

1) スケール課題

※メジャースケールおよびマイナースケールの全調の中から、試験場において指定(マイナースケールはハーモニックマイナースケール)。8分音符で全音域を使いスラーで演奏(♩=120~160前後、暗譜)。

2) アルペジオ課題

次の譜例に従い、それぞれの楽器(E^b管、B^b管)の3つのKey(C、F、G)で演奏出来るようにしておくこと。その中から試験場において1つ指定。



3) 自由曲1曲

ジャズスタンダード曲から任意。アドリブ(暗譜でなくともよい)を含めた4分程度の演奏。

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

トランペット

1) スケール課題

※次の譜例に従いin B^bで3つのKey(C、E、F)で演奏出来るようにしておくこと。その中から試験場において1つ指定(♩=120前後、暗譜)。

① メジャースケール in B^b



② ハーモニックマイナースケール in B^b



2) 自由曲1曲

ジャズスタンダードから任意。アドリブ(暗譜でなくともよい)を含めた4分程度の演奏。

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

トロンボーン

1) スケール課題

※次の譜例に従い、3つのKey(B^b、D、E^b)で演奏出来るようにしておくこと。その中から試験場において1つ指定(♩=120前後、暗譜)。

① メジャースケール



② ハーモニックマイナースケール



音楽芸術表現学科 | 入学者選抜科目

2) 自由曲 1 曲

ジャズスタンダードから任意。アドリブ（暗譜でなくてもよい）を含めた 4 分程度の演奏。

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いた Audio CD または音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USB フラッシュドライブ、SD メモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

ヴォーカル

1) 反復歌唱

※ピアノで演奏されたメロディー（長調または短調）を聴き取り（2 小節程度、1 オクターブ半の範囲）、そのメロディーの反復唱（「ラ」で歌唱）を行う。その後で、そのメロディーの移調唱を行う（1 回）。

2) 自由曲 1 曲

（試験時の演奏時間は 4 分程度とする。ジャズスタンダード曲。アドリブ（小節数は任意）を含める。原語で暗譜）
 ※伴奏付き。伴奏の種類は、ピアノ伴奏または音源による伴奏とする。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合はヴォーカル（主旋律）を抜いた Audio CD または音源ファイルを出願時に提出。ピアノ伴奏者は大学が用意する。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USB フラッシュドライブ、SD メモリーカードのいずれか。ただし、ピアノまたはギターによる弾き語りも可（伴奏譜の提出は不要）。マイクの使用は不可。

※メディアの返却はしません。

ジャズコース入試課題曲

(ピアノ)

F Blues

Medium Swing ♩=120

Comping

F7 B^b7 F7 F7

B^b7 B^b7 F7 Am7 D7

Gm7 C7 F7 D7 Gm7 C7

Solo

F7 B^b7 F7 F7

B^b7 B^b7 F7 Am7 D7

Gm7 C7 F7 D7 Gm7 C7 F7

当日は、リズムトラック（ウェブサイトよりダウンロード可）に合わせての演奏。暗譜でなくてもよい。

ピアノ  デジタルブックではここをクリックすると、リズムトラックを聴くことができます。

ジャズコース入試課題曲

(ギター)

F Blues

Medium Swing ♩=120

Backing

Solo

当日は、リズムトラック（ウェブサイトよりダウンロード可）
に合わせての演奏。暗譜でなくてもよい。

ギター



デジタルブックでは
ここをクリックすると、
リズムトラックを
聴くことができます。

(ベース、ドラムス)

F Blues

Medium Swing ♩=120

当日は、リズムトラック（ウェブサイトよりダウンロード可）
に合わせての演奏。暗譜でなくてもよい。

ベース



デジタルブックでは
ここをクリックすると、
リズムトラックを
聴くことができます。

ドラムス



16 ポップ&ロックミュージックコース

(入学者選抜科目の見方)
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願 特待・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	同時出願一般
1 主科実技課題	下記の「主科実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択すること(32~35ページ)。 ※入学後に主専攻とする演奏実技で受験すること。	※ピアノ、ドラムセットなど大型楽器以外は各自持参すること。 ※自由曲において4分を超える場合は、演奏の途中で止めることがある。 ※ドラムスのセッティングの変更は最小限にとどめること。	○	○	○	○	○	○
2 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○			
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
5 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。					○	○

主科実技課題詳細 (楽器別)

※楽器・機材は当日のコンディションによって別のものを用意する場合がある。

ピアノ

- 1) 課題曲
与えられたコード進行による演奏。
(両手伴奏スタイルによるコードバックিং。決められたリズム以外は自由)
※34ページ「ポップ&ロックミュージックコース入試課題曲」参照。
- 2) 自由曲1曲
(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。自作の曲またはアドリブを含ませてもよい。暗譜でなくてもよい)
※ソロ演奏または音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC。提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。
※メディアの返却はしません。

ギター

設置機材：ギターアンプ
Roland JC-120、Fender Hot Rod Deluxe、
Fender Blues Junior、
Marshall (ヘッド：JVM205H キャビネット：1960A)

- 1) 課題曲
与えられたコード進行による演奏。(コードバックিং。決められたリズム以外は自由)
※35ページ「ポップ&ロックミュージックコース入試課題曲」参照。
- 2) 自由曲1曲
(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。アドリブを含ませてもよい。暗譜でなくてもよい)
※ソロ演奏または音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC。提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。
※メディアの返却はしません。

ベース

設置機材：ベースアンプ

ヘッド：aguiar TONE HAMMER 350、AMPEG B2-RE

キャビネット：AMPEG SVT810E

1) 課題曲

与えられたコード進行による演奏。(ベースラインを演奏。決められたリズム以外は自由)

※35ページ「ポップ&ロックミュージックコース入試課題曲」参照。

2) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。アドリブを含ませてもよい。暗譜でなくてもよい)

※音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

ドラムス

設置機材：ドラムセット

YAMAHA Birch Custom

サイズ BD：22 TT：10,12 FT：16 SD：14

Ride：Zildjian Medium 20

Crash：Zildjian Medium Thin 16,18

HH：Zildjian New Beat 14

1) 基礎打ち

シングルストローク、ダブルストローク、5ストロークを加速～減速で演奏すること。

※試験場において指定。

2) リズムパターン演奏

♩=120、16小節、クリックに合わせて演奏すること。内容は自由。

3) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。暗譜でなくてもよい)

※音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

パーカッション

設置機材：コンガ、パンディエロ、ティンバレス、ジャンベ、カホン

1) 課題

コンガ、パンディエロ、ティンバレス、ジャンベ、カホンの中からひとつ選び、16小節のパターンを自由演奏。テンポは自由。

2) 自由曲1曲

(少なくとも3つの楽器を使用すること。コンガ、パンディエロ、ティンバレス、ジャンベ、カホン以外の楽器は各自持参すること。試験時の演奏時間は4分程度とする。暗譜でなくてもよい)

※ソロ演奏または音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC。提出するメディアの種類はCD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

サクソフォーン

ソプラノ、アルト、テナー、バリトンいずれも可。

1) スケール課題

※次の譜例に従い、全調(12Key)で演奏出来るようにしておくこと。

その中から試験場において1つ指定

(♩=120~160前後、暗譜)。

① メジャースケール

② ハーモニックマイナースケール

2) 自由曲1曲

ポピュラーまたはジャズスタンダード曲から任意の1曲。試験時の演奏時間は4分程度とする。(暗譜でなくてもよい)

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

トランペット

1) 課題

次の譜例に従い演奏すること。実音でDm、Em、Fmの中から試験場において指定。暗譜。

2) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ(小節数は任意)を含める。暗譜でなくてもよい)

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

トロンボーン

1) 課題

次の譜例に従い演奏すること。Dm、E^bm、Fmの中から試験場において指定。暗譜。

2) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ(小節数は任意)を含める。暗譜でなくてもよい)

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC。提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

ヴォーカル

1) 反復歌唱

※ピアノで演奏されたメロディー(長調または短調)を聴き取り(2小節程度、1オクターヴ半の範囲)、そのメロディーの反復唱(「ラ」で歌唱)を行う。その後で、そのメロディーの移調唱を行う(1回)。

2) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。暗譜)

※伴奏付き。伴奏の種類は、ピアノ伴奏または音源による伴奏とする。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合はヴォーカル(主旋律)を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ピアノ伴奏者は大学が用意する。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC。提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。ただし、ピアノまたはギターによる弾き語りも可(伴奏譜の提出は不要)。マイクの使用は不可。

※メディアの返却はしません。

ポップ & ロックミュージックコース入試課題曲

(ピアノ)

当日は、リズムトラック(ウェブサイトよりダウンロード可)に合わせての演奏。暗譜でなくてもよい。

ピアノ  デジタルブックではここをクリックすると、リズムトラックを聴くことができます。

ポップ & ロックミュージックコース 入試課題曲

(ギター)

♩ = 114 8beat

ワン ツー スリー フォー

A

C Maj7 Dm7 Em7 Dm7

F Maj7 Em7 A7 Dm7 D♭7(9) Cadd9

B

F Fm C Maj7 A7 D7(9)

D7(9) G7 C Maj7 C#dim Dm7 E/G C Maj7

C Maj7

当日は、リズムトラック（ウェブサイトよりダウンロード可）
に合わせての演奏。暗譜でなくてもよい。

ギター



デジタルブックでは
ここをクリックすると、
リズムトラックを
聴くことができます。

(ベース)

♩ = 120 8beat

ワン ツー スリー フォー

F A7 Dm7 Cm7 F

B♭Maj7 B♭Maj7 Am7 D7

Gm7 Gm7 C7 C7

F

当日は、リズムトラック（ウェブサイトよりダウンロード可）
に合わせての演奏。暗譜でなくてもよい。

ベース



デジタルブックでは
ここをクリックすると、
リズムトラックを
聴くことができます。

17 アートマネジメントコース

(入学者選抜科目の見方)
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	特待出願一般	
1 小論文・実技課題	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択して受験すること。</p> <p>(1) 小論文 60分・800字以内(表現力や自分の考えをまとめる能力をみる)</p> <p>(2) 音楽実技 次の(a)~(c)のいずれか1つを選択。</p> <p>(a) 歌唱(クラシック音楽) 自由曲1曲。原語で歌う。(暗譜でなくてもよい)</p> <p>(b) 器楽演奏 任意の楽器による自由曲1曲。使用楽器は音楽芸術表現学科に設けているコースの楽器から任意に選ぶ。(暗譜でなくてもよい)</p> <p>(c) ポピュラー演奏 下記の①~⑨による自由曲(ポピュラー曲)1曲(暗譜でなくてもよい)。</p> <p>① ピアノ ② ギター ③ ベース ④ サクソフォーン ⑤ トランペット ⑥ トロンボーン ⑦ ドラムス ⑧ パーカッション ⑨ ヴォーカル</p>	<p>※(2)の音楽実技について</p> <p>(a)の場合、ピアノ伴奏者は大学が用意する。出願時に伴奏譜を提出すること。</p> <p>(b)の場合、ピアノ、オルガン、電子オルガン、大型楽器以外の楽器は各自持参すること。受験曲の演奏には伴奏はつけない。</p> <p>(b)の場合、電子オルガン選択者は15ページ電子オルガンコースの注記を必ず確認すること。</p> <p>(c)の場合、ピアノ、ドラムセット等大型楽器以外は各自持参すること。</p> <p>①②④⑤⑥⑦⑧はソロ演奏または音源による伴奏付き。③は音源による伴奏付き。</p> <p>音源の種類はAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ただし、④~⑥は演奏する楽器を抜いた音源を提出すること。</p> <p>⑨はソロまたはピアノか音源による伴奏付き。ピアノ伴奏者は大学が用意する。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合は、ヴォーカルを抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出すること。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。</p> <p>※(a)~(c)については、演奏の途中で止める場合がある。</p>	○	○	○	○	○	○	
2 アートマネジメント面接	舞台芸術や音楽、日ごろの活動や経験に関する試問(出願書類に関する内容を含む)	※アートマネジメントと音楽に対する意欲と関心の度合いを重視する。	○	○	○	○	○	○	
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○				
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○	
5 一般科目	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。</p> <p>(1) 本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。</p> <p>(a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分)</p> <p>(b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分)</p> <p>(c) 小論文(60分)</p> <p>(2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。</p> <p>(a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報</p>	<p>※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。</p> <p>※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。</p>						○	○

18 舞台スタッフコース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 特 出 願 ・ 同 特 出 願 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 特 出 願 ・ 一 般
1 小論文・ 実技課題	次の(1)または(2)のいずれかを選択して受験すること。 (1) 小論文 60分・800字以内(表現力や自分の考えをまとめる能力をみる) (2) 音楽実技 次の(a)～(c)のいずれか1つを選択。 (a) 歌唱(クラシック音楽) 自由曲1曲。原語で歌う。(暗譜でなくてもよい)。 (b) 器楽演奏 任意の楽器による自由曲1曲。使用楽器は音楽芸術表現学科に設けているコースの楽器から任意に選ぶ(暗譜でなくてもよい)。 (c) ポピュラー演奏 下記の①～⑨による自由曲(ポピュラー曲)1曲(暗譜でなくてもよい)。 ① ピアノ ② ギター ③ ベース ④ サクソフォーン ⑤ トランペット ⑥ トロンボーン ⑦ ドラムス ⑧ パーカッション ⑨ ヴォーカル	※(2)の音楽実技について (a)の場合、ピアノ伴奏者は大学が用意する。出願時に伴奏譜を提出すること。 (b)の場合、ピアノ、オルガン、電子オルガン、大型楽器以外の楽器は各自持参すること。受験曲の演奏には伴奏はつけない。 (b)の場合、電子オルガン選択者は15ページ電子オルガンコースの注記を必ず確認すること。 (c)の場合、ピアノ、ドラムセット等大型楽器以外は各自持参すること。 ①②④⑤⑥⑦⑧はソロ演奏または音源による伴奏付き。③は音源による伴奏付き。 音源の種類はAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ただし、④～⑥は演奏する楽器を抜いた音源を提出すること。 ⑨はソロまたはピアノか音源による伴奏付き。ピアノ伴奏者は大学が用意する。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合は、ヴォーカルを抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出すること。 ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。 ※(a)～(c)については、演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○
2 舞台スタッフ 面接	舞台芸術への関わり(鑑賞経験や出演経験、学びたいこと)などに関する試問(出願書類に関する内容を含む)	※舞台芸術に対する意欲と関心の度合いを重視する。	○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○			
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
5 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。					○	○

19 ミュージカルコース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願	特 待 生 学 校 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願 一 般	同 時 出 願 特 待 生
1 主科実技課題	<p>A. 次の(1)～(3)のすべてを受験すること。</p> <p>(1) ヴォーカル 自由曲1曲(試験時の演奏時間は3分以内とする)</p> <p>(2) ダンス 基礎的な振付指導後、音楽に合わせて踊る。</p> <p>(3) 演技 当日出題される課題を演じる。</p> <p>※総合型選抜において特待生候補に選ばれた者は、後日、次の科目も受験すること。</p> <p>(4) 視唱 当日出題される8小節程度の旋律を階名または音名または母音で歌う。</p>	<p>※(1)ヴォーカルについて、3分を超える場合は、演奏の途中で止めることがある。暗譜でなくてもよい。</p> <p>※出願時に伴奏譜を提出すること(コード譜は不可)。ピアノ伴奏者は大学が用意する。</p>	○				○			
	<p>B. 次の(1)～(4)のすべてを受験すること。</p> <p>(1) ヴォーカル 自由曲1曲(試験時の演奏時間は3分以内とする)</p> <p>(2) ダンス 基礎的な振付指導後、音楽に合わせて踊る。</p> <p>(3) 視唱 当日出題される8小節程度の旋律を階名または音名または母音で歌う。</p> <p>(4) 演技 当日出題される課題を演じる。</p>		○	○	○	○	○	○		
2 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○					
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○					○
5 一般科目	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。</p> <p>(1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。</p> <p>(a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分)</p> <p>(b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分)</p> <p>(c) 小論文(60分)</p> <p>(2) 大学入学共通テストの成績を利用する。</p> <p>次の(a)～(g)の中から1科目を採用。</p> <p>(a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報</p>	<p>※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。</p> <p>※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。</p>						○	○	

20 バレエコース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願 特 待 生 校 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願 特 待 生 一 般
1 主科実技 課題	レッスン形式（バーとセンター、ポアント）	※ポアントは女性のみ。	○	○	○	○	○	○
2 主科面接	主科に対する試問（出願書類に関する内容を含む）		○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記（書籍）を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない）。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○			
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
5 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は 71ページ を参照。					○	○

21 音楽療法コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願・特待・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	同時出願・一般	
1 小論文・実技課題等	<p>A. 次の(1)および(2)の両方を受験すること。</p> <p>(1) 小論文 60分・800字以内(表現力や自分の考えをまとめる能力をみる)</p> <p>(2) 音楽実技 次の(a)~(c)のいずれか1つを選択。 (a) 歌唱(クラシック音楽) 自由曲1曲。原語で歌う(暗譜でなくてもよい)。 (b) 器楽演奏 任意の楽器による自由曲1曲。使用楽器は音楽芸術表現学科に設けているコースの楽器から任意に選ぶ(暗譜でなくてもよい)。 (c) ポピュラー演奏 下記の①~⑨による自由曲(ポピュラー曲)1曲(暗譜でなくてもよい)。 ① ピアノ ② ギター ③ ベース ④ サクソフォーン ⑤ トランペット ⑥ トロンボーン ⑦ ドラムス ⑧ パーカッション ⑨ ヴォーカル</p>	<p>※音楽実技について (a)の場合、ピアノ伴奏者は大学が用意する。出願時に伴奏譜を提出すること。 (b)の場合、ピアノ、オルガン、電子オルガン、大型楽器以外の楽器は各自持参すること。受験曲の演奏には伴奏はつけない。 (b)の場合、電子オルガン選択者は15ページ電子オルガンコースの注記を必ず確認すること。 (c)の場合、ピアノ、ドラムセット等大型楽器以外は各自持参すること。 ①②④⑤⑥⑦⑧はソロ演奏または音源による伴奏付き。③は音源による伴奏付き。 音源の種類はAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ただし、④~⑥は演奏する楽器を抜いた音源を提出すること。 ⑨はソロまたはピアノか音源による伴奏付き。ピアノ伴奏者は大学が用意する。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合は、ヴォーカルを抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出すること。 ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。 注：(c)ポピュラー演奏を選択した場合、入学後の実技レッスンについて一部の楽器は受ける事ができませんのでご注意ください。 ※(a)~(c)については、演奏の途中で止める場合がある。</p>							○
	<p>B. 次の(1)および(2)の両方を受験すること。</p> <p>(1) プレゼンテーション「自己アピール」 (自分の考えをまとめ、表現する能力をみる。)面接の中で行う。自分自身についての5分間のプレゼンテーションを行う。ただし、楽器や機材を必要とする場合は各自持参すること。</p> <p>(2) 音楽実技 次の(a)~(c)のいずれか1つを選択。 (a) 歌唱(クラシック音楽) 自由曲1曲。原語で歌う(暗譜でなくてもよい)。 (b) 器楽演奏 任意の楽器による自由曲1曲。使用楽器は音楽芸術表現学科に設けているコースの楽器から任意に選ぶ(暗譜でなくてもよい)。 (c) ポピュラー演奏 下記の①~⑨による自由曲(ポピュラー曲)1曲(暗譜でなくてもよい)。 ① ピアノ ② ギター ③ ベース ④ サクソフォーン ⑤ トランペット ⑥ トロンボーン ⑦ ドラムス ⑧ パーカッション ⑨ ヴォーカル</p>								
2 音楽療法面接	対人援助についての自身の考えに関する試問(出願書類に関する内容を含む)	※音楽療法に対する意欲と関心の度合いを重視する。	○	○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○				
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○				○
5 一般科目	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。</p> <p>(1) 本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分)</p> <p>(2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報</p>	<p>※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。</p>							○ ○

22 音楽教養コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願 特 待 生 特 待 生 特 待 生 (11月)	同 時 出 願 特 待 生 特 待 生 特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願 特 待 生 特 待 生 特 待 生 (11月)
1 小論文・ 実技課題	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1)小論文 60分・800字以内(表現力や自分の考えをまとめる能力をみる) (2)音楽実技 次の(a)～(g)のいずれか1つを選択すること。 (a)ピアノ 自由曲1曲(繰り返しなし、暗譜でなくてもよい) (b)弦・管・打楽器 「弦・管・打楽器コース」の楽器から1つを選択し、任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏。(暗譜でなくてもよい) (c)声楽(クラシック音楽) 自由曲1曲。原語で歌う(暗譜でなくてもよい) (d)電子オルガン 自由曲1曲(暗譜でなくてもよい) (e)ジャズ 42ページの「実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択 (f)ポピュラー音楽 43ページの「実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択 (g)作曲 作品提出および口頭試問 次の2点を出願時に提出すること。 ・楽譜またはメディア(Audio CDまたは音源データ)による自作品を1曲【形式、編成は自由(編曲作品は除く)。】 ・作曲/制作過程の説明を含む楽曲解説。 ※記録するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。 ※メディアの返却はしません。	※(1)小論文で受験する場合、1年次に選択履修できる音楽教養実技(個人レッスン)は、ピアノまたは声楽に限る。 ※(2)音楽実技で受験する場合、1年次に履修できる音楽教養実技は、受験時に選択した科目に限る。 ※(1)(2)いずれの場合も、副科実技については、1年次から選択履修が可能。 ※(b)弦管打楽器で受験する場合、受験曲の演奏には伴奏をつけない。 ※(c)声楽で受験する場合、ピアノ伴奏者は大学が用意する。出願時に伴奏譜を提出すること。 ※(d)電子オルガンで受験する場合、15ページ電子オルガンコースの注記を必ず確認すること。 ※(a)～(f)については演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○
2 音楽教養 面接	音楽との関わり、音楽体験に対する試問(出願書類に関する内容を含む)	※音楽教養コースで学ぶことへの意欲と関心の度合いを重視する。	○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○			
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
5 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1)本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a)英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b)国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c)小論文(60分) (2)大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a)国語 (b)地理歴史 (c)公民 (d)数学 (e)理科 (f)外国語 (g)情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。					○	○

実技課題 ジャズで受験「実技課題詳細（楽器別）」

ピアノ、ギター

自由曲1曲

（試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ（小節数は任意）を含める。暗譜でなくてもよい）

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※ギターの設置機材については、[28ページ](#) ジャズコースの主科実技課題詳細（楽器別）を参照。

ベース

自由曲1曲

（試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ（小節数は任意）を含める。暗譜でなくてもよい）

※音源による伴奏付き。Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※ベースの設置機材については、[29ページ](#) ジャズコースの主科実技課題詳細（楽器別）を参照。

ドラムス

自由曲1曲

（試験時の演奏時間は4分程度とする。暗譜でなくてもよい）

※音源による伴奏付き。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※設置機材については、[29ページ](#) ジャズコースの主科実技課題詳細（楽器別）を参照。

サクソフォーン、トランペット、トロンボーン

自由曲1曲

（試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ（小節数は任意）を含める。暗譜でなくてもよい）

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は演奏する楽器を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

ヴォーカル

自由曲1曲

（試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダード曲。アドリブ（小節数は任意）を含める。原語で歌う。暗譜でなくてもよい）

※伴奏付き。伴奏の種類は、ピアノ伴奏または音源による伴奏とする。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合はヴォーカル（主旋律）を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。ただし、ピアノまたはギターによる弾き語りも可（伴奏譜の提出は不要）。マイクの使用は不可。ピアノ伴奏者は大学が用意する。

実技課題 ポピュラー音楽で受験「実技課題詳細（楽器別）」

ピアノ、ギター

自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。自作の曲またはアドリブを含ませてもよい。暗譜でなくともよい)

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※ギターの設置機材については、[32ページ](#) ポップ&ロックミュージックコースの主科実技課題詳細（楽器別）を参照。

ベース

自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。自作の曲またはアドリブを含ませてもよい。暗譜でなくともよい)

※音源による伴奏付き。Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※ベースの設置機材については、[33ページ](#) ポップ&ロックミュージックコースの主科実技課題詳細（楽器別）を参照。

ドラムス、パーカッション

自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。暗譜でなくともよい)

※音源による伴奏付き。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※設置機材については、[33ページ](#) ポップ&ロックミュージックコースの主科実技課題詳細（楽器別）を参照。

サクソフォーン、トランペット、トロンボーン

自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。自作の曲またはアドリブを含ませてもよい。暗譜でなくともよい)

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は演奏する楽器を抜いた Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

ヴォーカル

自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。暗譜でなくともよい)

※伴奏付き。伴奏の種類は、ピアノ伴奏または音源による伴奏とする。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合はヴォーカル（主旋律）を抜いた Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。ただし、ピアノまたはギターによる弾き語りも可（伴奏譜の提出は不要）。マイクの使用は不可。ピアノ伴奏者は大学が用意する。

昭和音楽大学短期大学部 音楽科

2025年度 入学者選抜科目

音楽科

① デジタルミュージックコース	46
② 声楽コース	47
③ 声とことばの創造表現コース	48
④ 合唱指導者コース	49
⑤ ピアノコース	50
⑥ 電子オルガンコース	51
⑦ 弦・管・打楽器コース	52
⑧ ウインドシンフォニーコース	53
⑨ ジャズコース	58
⑩ ポップ&ロックミュージックコース	62
⑪ バレエコース	66
⑫ 音楽教養コース	67
⑬ 音楽と社会コース	68

1 デジタルミュージックコース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願 特待生・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	同時出願 特待生・一般
1 主科実技課題	<p>作品提出および口頭試問</p> <p>次の2点を出願時に提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽譜またはメディア (Audio CDまたは音源データ) による自作品を1曲。 【形式、編成は自由 (編曲作品は除く)】 ・作曲/制作過程の説明を含む楽曲解説。 <p>※記録するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。 ※メディアの返却はしません。</p>	※口頭試問は主科面接時に行う。	○	○	○	○	○	○
2 副科ピアノ・音楽理論・ソルフェージュ課題	<p>次の(1)～(6)のいずれか1つを選択すること。</p> <p>(1) 副科ピアノ 自由曲1曲 (電子オルガンでも受験可)</p> <p>(2) 楽典 筆記試験 (60分)</p> <p>(3) ポピュラー音楽理論 (筆記試験60分。インターバル (音程)、キー (調)、スケール (音階)、コード (和音)、トランスポーズ (移調))</p> <p>(4) 旋律聴音 2題</p> <p>(5) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユープンゲン第1巻) No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b)の中から1曲を当日指定。</p> <p>(6) 新曲視唱</p>	<p>※(1)演奏は繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。</p> <p>※電子オルガン選択者は51ページ電子オルガンコースの注記を必ず確認すること。</p> <p>※聴音およびコールユープンゲン、新曲視唱の実施方法は70ページを参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。</p>	○			○		
3 音楽理論	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。</p> <p>(1) 楽典 (筆記試験60分)</p> <p>(2) ポピュラー音楽理論 (筆記試験60分。インターバル (音程)、キー (調)、スケール (音階)、コード (和音)、トランスポーズ (移調))</p>			○	○		○	○
4 ソルフェージュ課題	<p>次の(1)～(3)のいずれか1つを選択すること。</p> <p>(1) 旋律聴音 2題</p> <p>(2) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユープンゲン第1巻) No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b)の中から1曲を当日指定。</p> <p>(3) 新曲視唱</p>	※聴音およびコールユープンゲン、新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。		○	○		○	○
5 副科ピアノ	自由曲1曲 (電子オルガンでも受験可)	<p>※繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。</p> <p>※電子オルガン選択者は51ページ電子オルガンコースの注記を必ず確認すること。</p>		○	○		○	○
6 主科面接	主科に対する試問 (出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
7 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記 (書籍) を読んで上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る (辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○			
8 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
9 一般科目	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。</p> <p>(1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。</p> <p>(a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分)</p> <p>(b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分)</p> <p>(c) 小論文 (60分)</p> <p>(2) 大学入学共通テストの成績を利用する。</p> <p>次の(a)～(e)の中から1科目を採用。</p> <p>(a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報</p>	<p>※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。</p> <p>※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。</p>					○	○

2 声楽コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願 特 待 生 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願 特 待 生 一 般
1 主科実技 課題	自由曲（クラシック音楽に限る） 任意の曲を1曲（原語）	※原語で暗譜とする。 ※演奏の途中で止める場合がある。 出願時に伴奏譜を提出すること。 ※ピアノ伴奏者は大学が用意する。 ※大学と併願する場合は、大学声 楽コースの自由曲が採点の対象 となる。	○	○	○	○	○	○
2 副科ピアノ・ 楽典・ ソルフェージュ 課題	次の(1)～(5)のいずれか1つを選択すること。 (1) 副科ピアノ 自由曲1曲 (2) 楽典 筆記試験（60分） (3) 旋律聴音 2題 (4) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule（コールユーブンゲン第1巻） No. 50e)、52a)、53、58b)、63、69、71、77c)、83c)、 84c) の中から1曲を当日指定。 (5) 新曲視唱	※(1)の演奏は繰り返しなし。暗譜 でなくてもよい。 ※聴音およびコールユーブンゲン、 新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ド のいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○
3 主科面接	主科に対する試問（出願書類に関する内容を含む）		○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記（書籍） を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の 作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項 目および楽曲解説書は認めない）。持込不可。事前によく 準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○			
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択 して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニ ケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」（45分） (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」（ただし古文・漢文 を除く）（45分） (c) 小論文（60分） (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述 式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用 する場合、「国語」「地理歴史」 「公民」「数学」「理科」「外国語」 「情報」について、受験した科目 のうち最も高得点の科目を合否 判定に使用。判定の際、各科目 を100点満点に換算。合否判定に 使用できる科目の詳細は 71ペー ジ を参照。					○	○

昭和音楽大学
短期大学部

音楽科

デジタル
ミュージックコース

声楽コース

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦・管・打楽器コース

ウイバソフォニーコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

バレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

3 声とことばの創造表現コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願 特待・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	特待・一般	
1 主科実技課題	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。</p> <p>(1) 次の(a)～(c)のいずれかを選択し、日本語で朗読すること(声を使った表現力、発信力をみる)</p> <p>(a) 高田敏子「海」 (b) 谷川俊太郎 詩集「旅」より鳥羽「何ひとつ書くことはない」 (c) 山村暮鳥「雲」より「おうい雲よ」</p> <p>(2) 音楽実技 次の(a)または(b)のいずれかを選択すること。</p> <p>(a) 歌唱 自由曲1曲。(声楽曲は原語に限る、暗譜でなくてもよい)</p> <p>(b) ポピュラー演奏 次の①～⑨による自由曲(ポピュラー曲)1曲(暗譜でなくてもよい)</p> <p>① ピアノ ② ギター ③ ベース ④ サクソフォーン ⑤ トランペット ⑥ トロンボーン ⑦ ドラムス ⑧ パーカッション ⑨ ヴォーカル</p>	<p>※(2)の音楽実技について</p> <p>(a)の場合、ピアノ伴奏者は大学が用意。出願時に伴奏譜を提出すること。</p> <p>(b)の場合、ピアノ、ドラムセット等大型楽器以外は各自持参すること。</p> <p>①②④⑤⑥⑦⑧はソロ演奏または音源による伴奏付き。 ③は音源による伴奏付き。 音源の種類はAudioCDまたは音源ファイルを出願時に提出。ただし、④～⑥は演奏する楽器を抜いた音源を提出すること。 ⑨はソロ(無伴奏)またはピアノが音源による伴奏付き。ピアノ伴奏者は大学が用意する。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合はヴォーカルを抜いたAudioCDまたは音源ファイルを出願時に提出すること。 ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカード。演奏の途中で止める場合がある。</p>	○	○	○	○	○	○	
2 主科面接	声とことばの創造表現について、希望する分野への関心・意欲・学びたいことなどに関する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○	
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○				
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○	
5 一般科目	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。</p> <p>(1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。</p> <p>(a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分)</p> <p>(2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報</p>	<p>※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。</p> <p>※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。</p>						○	○

4 合唱指導者コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願	特 待 生 特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願	特 待 生 一 般
1 主科実技 課題	基礎指揮 4・3・2拍子の図形、およびリズム打ちとリズム読み。	※リズム打ちとリズム読みの実施 方法は、8小節程度のリズム譜 下段を両手で打ちながら、上段 をリズム読みする。	○	○	○	○	○	○	○
2 声 楽	自由曲（クラシック音楽に限る） 任意の曲を1曲	※暗譜でなくてもよい。 ※演奏の途中で止める場合がある。 ※出願時に伴奏譜を提出すること。 ※ピアノ伴奏者は大学が用意する。	○	○	○	○	○	○	○
3 副科ピアノ	自由曲1曲	※繰り返しなし。暗譜でなくても よい。	○	○	○	○	○	○	○
4 ソルフェージュ 課題	次の(1)～(3)のいずれか1つを選択すること。 (1) 旋律聴音2題 (2) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユーブンゲン第1巻) No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b) の中から1曲を当日指定。 (3) 新曲視唱	※聴音およびコールユーブンゲン、 新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ド のいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○	○
5 主 科 面 接	主科に対する試問（出願書類に関する内容を含む）		○	○	○	○	○	○	○
6 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記（書籍） を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の 作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項 目および楽曲解説書は認めない）。持込不可。事前によく 準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を 参照。			○	○				
7 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○				○
8 一 般 科 目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択 して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニ ケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文 を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述 式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用 する場合、「国語」「地理歴史」 「公民」「数学」「理科」「外国語」 「情報」について、受験した科目 のうち最も高得点の科目を合否 判定に使用。判定の際、各科目 を100点満点に換算。合否判定に 使用できる科目の詳細は 71ペー ジ を参照。						○	○

昭和音楽大学
短期大学部

音 楽 科

デジタル
ミュージックコース

声 楽 コー ス

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦・管・打楽器コース

ウイバソフオーコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

バレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

5 ピアノコース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願 特待・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	特待・出願一般
1 主科実技課題	自由曲（10分以内、複数曲可）	※繰り返しなしで、暗譜でなくてもよい。 ※演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○
2 楽典・ソルフェージュ課題	次の(1)～(5)のいずれか1つを選択すること。 (1) 楽典 筆記試験（60分） (2) 聴音 旋律聴音2題、および和声聴音1題（上三声密集 四声体） (3) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule（コールユーブンゲン第1巻 No. 43c）、45b）、48d）、49e）、50e）、52a）、53、58b）の中から1曲を当日指定。 (4) 新曲視唱 (5) 初見演奏（16～24小節程度、調号#b2つまで。予見時間30秒）	※聴音およびコールユーブンゲン、新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○
3 主科面接	主科に対する試問（出願書類に関する内容を含む）		○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記（書籍）を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない）。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○			
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」（45分） (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」（ただし古文・漢文を除く）（45分） (c) 小論文（60分） (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は 71ページ を参照。					○	○

6 電子オルガンコース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願 特待生・教推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	同時出願 特待生・一般
1 主科実技課題	自由曲1曲を演奏すること。	※暗譜でなくてもよい。 ※使用機種は、以下の中から出願の際に選択すること。 ・YAMAHA ELS-02C ・YAMAHA ELS-02X ・データメディアは音色およびシーケンス用データとしてのみ使用可。自動演奏は不可。 ・当日使用可能な記憶メディア(ストレージ)は、USBフラッシュメモリーのみ(スマートメディア、フロッピーディスクは使用不可)。 ・使用機種について、追加・変更がある場合は本学ウェブサイト等でお知らせします。	○	○	○	○	○	○
2 楽典・ソルフェージュ課題	次の(1)～(4)のいずれか1つを選択すること。 (1) 楽典 筆記試験(60分) (2) 聴音 旋律聴音2題 (3) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユーブンゲン第1巻 No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b)の中から1曲を当日指定。 (4) 新曲視唱	※聴音およびコールユーブンゲン、新曲視唱の実施方法は 70ページ を参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○
3 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○			
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は 71ページ を参照。					○	○

昭和音楽大学
短期大学部

音楽科

デジタル
ミュージックコース

声楽コース

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦・管・打楽器コース

ウイバソフォニーコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

バレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

7 弦・管・打楽器コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入 学 者 選 抜 科 目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願	特 待 生 学 校 推 薦 型	特 待 生 (1 月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願 一 般
1 主科実技 課題	53ページの「主科実技課題詳細（楽器別）」の中からいずれかを選択すること（53～57ページ）。	※受験曲の演奏には伴奏はつけない。 ※課題により演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○	○
2 副科ピアノ・ 楽典・ ソルフェージュ 課題	次の(1)～(5)のいずれか1つを選択すること。 (1) 副科ピアノ 自由曲1曲 (2) 楽典 筆記試験(60分) (3) 旋律聴音 2題 (4) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユーブンゲン第1巻 No. 43c)、45b)、48d)、49e)、50e)、52a)、53、58b)の中から1曲を当日指定。 (5) 新曲視唱	※(1)の演奏は繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。 ※聴音およびコールユーブンゲン、新曲視唱の実施方法は70ページを参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。	○	○	○	○	○	○	○
3 主 科 面 接	主科に対する試問（出願書類に関する内容を含む）		○	○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記（書籍）を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項目および楽典解説書は認めない）。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○				
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○				○
6 一 般 科 目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。						○	○

8 ウインドシンフォニーコース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願・特待・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	同時出願・一般
1 主科実技課題	下記の「主科実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択すること(53~57ページ)。	※受験曲の演奏には伴奏はつけない。 ※課題により演奏の途中で止める場合がある。	○	○	○	○	○	○
2 副科ピアノ・楽典・ソルフェージュ課題	次の(1)~(5)のいずれか1つを選択すること。 (1) 副科ピアノ 自由曲1曲 (2) 楽典 筆記試験(60分) (3) 旋律聴音2題 (4) F. Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユープンゲン第1巻) No. 43c、45b、48d、49e、50e、52a、53、58b)の中から1曲を当日指定。 (5) 新曲視唱	※(1)の演奏は繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。 ※聴音およびコールユープンゲン、新曲視唱の実施方法は70ページを参照。唱法は固定ド、移動ドのいずれでもよい。		○	○			○
3 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
4 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○			
5 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
6 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。					○	○

昭和音楽大学
短期大学部

音楽科

デジタル
ミュージックコース

声楽コース

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦・管・打楽器コース

ウインドシンフォニーコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

バレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

主科実技課題詳細(楽器別)

7 弦・管・打楽器コース、8 ウインドシンフォニーコース 共通

ヴァイオリン

※ヴァイオリンを第2志望とすることができる。

1) 音階

長短全調から任意の音階3オクターヴと分散和音(暗譜)

2) 課題曲

任意の協奏曲または練習曲ソナタから1つの楽章(緩徐楽章を除く、暗譜)

ヴィオラ

※ヴァイオリンでも受験可。その場合、ヴァイオリンと同じ課題曲とする。

1) 音階

長短全調から任意の音階3オクターヴ(暗譜)

2) 課題曲

任意の独奏曲または練習曲(暗譜)

チェロ

- 1) 音階
長短全調から任意の音階 3 オクターヴ (暗譜)
- 2) 課題曲
任意の独奏曲または練習曲 (暗譜)

コントラバス

- 課題曲
任意の独奏曲または練習曲 (暗譜)

ハープ

- 課題曲
任意の独奏曲または練習曲 (暗譜でなくてよい。本学の楽器を使用すること)

クラシックギター

- 課題曲
任意の独奏曲または練習曲 (暗譜)

フルート

- 1) 音階
長短全調の中から、試験場において指定された調の 2 オクターヴの音階を、暗譜で演奏すること。(アルペジオを含む。短調は和声的短音階。アルテス 2 巻を参照)

- 2) 課題曲
次の (a) ~ (d) のいずれか 1 つを選択。(暗譜でなくてもよい)
- (a) C. J. Andersen: 24 Studies for Flute, Op. 21 から任意の 1 曲
 - (b) E. Köhler: 12 Medium Difficult Exercises for Flute から任意の 1 曲
 - (c) A. B. Fürstenau: 24 Etüden (Bouquets des tons), Op. 125 から任意の 1 曲
 - (d) 任意の協奏曲から 1 つの楽章 (緩徐楽章を除く、繰り返しおよびカデンツァなし)

オーボエ

- 1) 音階
長短全調の中から、試験場において指定された調の 2 オクターヴの音階を、暗譜で演奏すること。(開始音の音域により、次の例を参照のこと。短音階は和声的短音階)

演奏例 - 1 最低音「変ロ」から「1点ヘ」までの音域内の音で開始する場合

演奏例 - 2 「1点変ト」から「1点イ」までの音域内の音で開始する場合

- 2) 課題曲
次の練習曲から任意の奇数番号曲と偶数番号曲を 1 曲ずつ演奏すること。(計 2 曲、暗譜でなくてもよい)
F. W. Ferling: 48 Übungen für Oboe (48 Etudes for oboe), Op. 31

クラリネット

※バス・クラリネットでも受験可。その場合は出願書類に「バス・クラリネット」と明記すること。

- 1) 音階
長短全調の中から試験場において指定。(暗譜)
※参考 R. Eichler: Scales for Clarinet (国立音楽大学出版)
 - 2) 課題曲
次の (a) ~ (d) のいずれか 1 つを選択。(暗譜でなくてもよい)
- (a) E. Cavallini: 30 Capricci (Ricordi 版) より任意の 1 曲
 - (b) C. Rose: 32 Etudes (全音もしくは Alphonse Leduc 版) より任意の 1 曲
 - (c) C. M. v. Weber: Concerto No.1 in F minor, Op. 73 から第 1 楽章、Baermann のカデンツァまで (出版社指定なし)
 - (d) C. M. v. Weber: Concertino in E flat major, Op. 26 始めから 111 小節目まで (出版社指定なし)

ファゴット

- 1) 音階
長短全調の中から、試験場において指定された調の 2 オクターヴの音階を、暗譜で演奏すること。(短調は旋律的短音階)
 - 2) 課題曲
次の (a) または (b) のいずれかを選択。(暗譜でなくてもよい)
- (a) J. Weissenborn: Bassoon Studies, Op. 8, Vol. II (出版社指定なし) 第 1 番 ~ 第 14 番から任意の 1 曲
 - (b) 任意の協奏曲またはソナタから 1 つの楽章 (繰り返し、およびカデンツァはなし)

サクソフォーン

- 1) 音階
次の (a) および (b) を両方とも演奏すること。(暗譜、短調については旋律的短音階または和声的短音階のいずれでも可。)
- (a) 長短全調の中から試験場において指定された音階を、全音域を使いスラーで演奏すること。
 - (b) 当日指定された音からの半音音階を、16 分音符で全音域を使いスラーで演奏 (♩ = 120 以上、暗譜)
- ※ 参考 須川展也編：サクソフォーンのためのトレーニングブック (音楽之友社)

2) 課題曲

次の(a)～(e)のいずれか1つを選択すること。

- (a) W. Ferling / M. Mule: 48 Etudes pour tous les saxophones から任意の奇数番号と偶数番号の曲を各々1曲ずつ (計2曲を奇数番号を先に演奏すること。暗譜)
- (b) A. Glazunov: Concerto en mi bémol pour saxophone alto (Concerto in E flat major for alto saxophone), Op.109 (Alphonse Leduc版)、冒頭から練習番号16まで
- (c) P. Creston: Sonata for E flat alto saxophone, Op.19 (Shawnee Press版) から第1楽章
- (d) J. Ibert: Concertino da camera (Alphonse Leduc版) 第1楽章
- (e) P. Maurice: Tableaux de Provence (Editions Henry Lemoine版) から第5楽章

※ (b)(c)(d)(e)については暗譜でなくてもよい。

金管楽器共通課題

音階

譜例に従い、(a)長音階および(b)和声的短音階を演奏すること。

(調性の指定については各楽器の欄を参照。暗譜)

ホルン

1) 音階 (金管楽器共通課題参照)

実音ハ、変口を基音とする長調、短調 (和声的短音階) より試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

2) 次のパターンを演奏すること。

(リップスラーで演奏、暗譜)

3) 課題曲

W. A. Mozart: Concerto for horn No.3 in E flat major, K.447 から第1楽章カデンツァなし (暗譜でなくてもよい)

トランペット

1) 音階 (金管楽器共通課題参照)

長短全調の中から試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

2) 次のパターンを演奏すること。

(スラーで演奏、暗譜)

3) 課題曲

J. B. Arban: Complete Conservatory Method for Trumpet から、"Fantasy and Variations on *The Carnival of Venice*" のうち、Introduction と Theme (暗譜でなくてもよい)

トロンボーン

※テナーもしくはバスのいずれかで受験すること。バスの場合は出願書類に「バス・トロンボーン」と明記すること。

1) 音階 (金管楽器共通課題参照)

実音ヘ、ト、イを基音とする長調、短調より試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

2) 次のパターンを演奏すること。

(スラーで演奏、暗譜)

3) 課題曲

A. テナー・トロンボーンの場合

次の(a)～(d)のいずれか1曲を選択。(暗譜でなくてもよい)

- (a) F. David: Concertino for trombone (Zimmermann版) から第1楽章
- (b) A. Guilmant: Concertpiece (Morceau symphonique), Op. 88 (International Music Company (IMC) 版) 最初からカデンツァまでと最後から40小節前の "Allegro moderato" から最後まで
- (c) B. Marcello: Sonata in A minor (International Music Company (IMC) 版) から第1楽章と第4楽章
- (d) 次の①と②を両方とも演奏すること。(すべて繰り返しなし)
 - ① J. Rochut: Melodious Etude for trombone, Book I, No. 6
 - ② C. Kopprasch: Sixty Selected Studies for trombone No. 9

昭和音楽大学
短期大学部

音楽科

デジタル
ミュージックコース

声楽コース

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦・管・打楽器コース

ウイバソフオーネーコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

バレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

B. バス・トロンボーンの場合

次の (a) ~ (d) のいずれか 1 曲を選択。(暗譜でなくてもよい)

- (a) O. Blume: 36 Studies for trombone with F attachment No. 2, 3, 5, 6 の中から任意の 1 曲
- (b) E. Sachse: Concerto (Konzert) in F major (Zimmermann 版) 最初から練習番号 C の 8 小節目まで
- (c) E. Bozza: New Orleans (Alphonse Leduc 版) 冒頭から練習番号 ③ までと練習番号 ⑨ から最後まで
- (d) 次の①と②を両方とも演奏すること。(1 オクターヴ下げて演奏。すべて繰り返しなし)
 - ① J. Rochut: Melodious Etude for trombone, Book I, No. 6
 - ② C. Kopprasch: Sixty Selected Studies for trombone No. 9

ユーフォニアム

1) 音階 (金管楽器共通課題参照)

実音へ、嬰へ、ト、変イ、イ、変ロを基音とする長調、短調より試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

2) 次のパターンを演奏すること。

(リップスラーで演奏、暗譜)

3) 課題曲

次の (a) または (b) のいずれかを選択。(暗譜でなくてもよい)

- (a) 次のうち、①~⑥のいずれか 1 曲と、⑦~⑨のいずれか 1 曲を選択し、計 2 曲演奏すること。(すべて繰り返しなし)
 - C. Kopprasch: 60 Selected Studies for trombone, Book 1 (出版社指定なし) から
 - ① No. 3 ② No. 11 ③ No. 12
 - ④ No. 14 ⑤ No. 16 ⑥ No. 20
 - J. Rochut: Melodious Etudes for trombone, Book 1 (Carl Fischer 版) から
 - ⑦ No. 3 ⑧ No. 4 ⑨ No. 5
- (b) J. B. Arban: Complete Method for trombone and euphonium から Characteristic Studies No. 1

チューバ

※ E^b, F, C, B^b 管のいずれでも受験可。

1) 音階 (金管楽器共通課題参照)

変イ長調、イ長調、へ短調、嬰へ短調より試験場において指定された調を演奏すること。(暗譜)

2) 次のパターンを演奏すること。

(スラーで演奏、暗譜)

3) 課題曲

次の (a) または (b) のいずれかを選択。(暗譜でなくてもよい)

- (a) 次のうち、①~④のいずれか 1 曲と、⑤~⑦のいずれか 1 曲を選択し、計 2 曲演奏すること。(すべて繰り返しなし)
 - C. Kopprasch: 60 Selected Studies for tuba (出版社指定なし) から
 - ① No. 12 "Allegro Moderato"
 - ② No. 14 "Allegro"
 - ③ No. 17 "Allegro risoluto"
 - ④ No. 21 "Moderato risoluto"
 - M. Bordini: 43 Bel Canto Studies (Robert King 版) から
 - ⑤ No. 8 "Moderato"
 - ⑥ No. 10 "Allegro Moderato"
 - ⑦ No. 14 "Andantino quasi Allegretto"
- (b) A. Lebedjew: Concerto No. 1 for tuba and piano (出版社指定なし) カデンツァのあとの Tempo I より最後まで

打楽器

次のA・B・Cいずれかの楽器で受験すること。【出願書類に受験楽器を記入すること】

A. 小太鼓

次の(1)および(2)を両方とも演奏すること。

(1) 小太鼓

次の(a)・(b)・(c)を演奏すること。

(a)：基礎打ち（1つ打ち・2つ打ちそれぞれの加減速打ち）および

（ロール *pp* ~ *crescendo* ~ *ff* ~ *diminuendo* ~ *pp*）の中から試験場にて指定。

(b)：C. Wilcoxon: The All American Drummer 150 Rudimental Solos（暗譜でなくてもよい）

2/4：No. 3, 9, 30, 44 の中から任意の1曲

6/8：No. 12, 35, 38, 112 の中から任意の1曲

(c)：A. J. Cirone: Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare Drum（暗譜でなくてもよい）

No. 4, 13, 19, 25, 28, 32, 37 の中から任意の1曲

※(c)の楽譜が入手できない場合には、本学入試広報室までお問い合わせください。

(2) マリンバ

調号#・b 2つまで（C dur = 八長調を除く）の任意の長調と平行調となる短調の音階。（音型は自由・暗譜）

長調 = 主音で始まる2オクターヴ上下行を2回行い、最後の主音のトレモロで終わる。

短調 = 主音で始まる和声的短音階の2オクターヴ上下行、そのまま続いて旋律的短音階で2オクターヴ上下行、最後の主音のトレモロで終わる。

=演奏例=



B. マリンバ

次の(1)および(2)を両方とも演奏すること。

(1) マリンバ

次の(a)・(b)・(c)を演奏すること。

(a)：調号#・b 3つまでの長・短調の音階をそれぞれ1つずつ試験場において指定。（音型は自由・暗譜）

長調 = 主音で始まる2オクターヴ上下行を2回行い、最後の主音のトレモロで終わる。

短調 = 主音で始まる和声的短音階の2オクターヴ上下行、そのまま続いて旋律的短音階で2オクターヴ上下行、最後の主音のトレモロで終わる。

=演奏例=



(b)：M. Goldenberg: Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone から "39 Etudes" のNo. 1, 3, 5, 6, 7, 8 のうちの任意の1曲（暗譜でなくてもよい）

(c)：任意の自由曲（6～7分程度）（暗譜でなくてもよい）

(2) 小太鼓

小太鼓による1つ打ちの加減速打ち。

C. ティンパニ

次の(1)および(2)を両方とも演奏すること。

(1) ティンパニ

(a)：チューニング適正（当日指定した音程をつくること）

次の(b)・(c)・(d)を演奏すること。

(b)：ロール打ち *pp* ~ *crescendo* ~ *ff* ~ *diminuendo* ~ *pp*（1分程度・音程は当日指定）

(c)：簡単な指定楽譜の演奏（楽譜は当日開示）

(d)：Richard Hochrainer: Etüden für Timpani (Heft 1) (Doblinger版) からNo. 13, 19, 39, 40, 43, 44, 45 のうちの任意の2曲（暗譜でなくてもよい）

(2) 小太鼓

小太鼓による1つ打ち、2つ打ちの加減速打ち。

昭和音楽大学
短期大学部

音楽科

デジタル
ミュージックコース

声楽コース

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦・管・打楽器コース

ウイバソフオーネコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

パレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

9 ジャズコース

(入学者選抜科目の見方)
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願・特待・学校推薦型	特待生(11月)	学校推薦型	一般	同時出願・一般
1 主科実技課題	下記の「主科実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択すること(58~61ページ)。 ※入学後に主専攻とする演奏実技で受験すること。	※ピアノ、ウッドベース、ドラムセットなど大型楽器以外は各自持参すること。 ※自由曲において4分を超える場合は、演奏の途中で止めることがある。 ※ドラムスのセッティングの変更は最小限にとどめること。	○	○	○	○	○	○
2 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○			
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
5 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。					○	○

主科実技課題詳細(楽器別)

※楽器・機材は当日のコンディションによって別のものを用意する場合がある。

ピアノ

- 1) 課題曲
与えられたコード進行による演奏。
(前半部 **Comping** (コードバックキング)、後半部 **Solo** (アドリブソロ))
※60ページ「ジャズコース入試課題曲」参照。
- 2) 自由曲1曲
(試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ(小節数は任意)を含める。暗譜でなくてもよい)
※ソロ演奏または音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。
※メディアの返却はしません。

ギター

設置機材：ギターアンプ
Roland JC-120、Fender Hot Rod Deluxe、
Fender Blues Junior、
Marshall (ヘッド：JVM205H キャビネット：1960A)

- 1) 課題曲
与えられたコード進行による演奏。
(前半部コードバックキング、後半部ソロは必ずしもアドリブでなくてもよい)
※61ページ「ジャズコース入試課題曲」参照。
- 2) 自由曲1曲
(試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ(小節数は任意)を含める。暗譜でなくてもよい)
※ソロ演奏または音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。
※メディアの返却はしません。

ベース

設置機材：ベースアンプ

ヘッド：aguilar TONE HAMMER 350、AMPEG B2-RE

キャビネット：AMPEG SVT810E

1) 課題曲

与えられたコード進行によるベースラインを演奏。

※61ページ「ジャズコース入試課題曲」参照。

2) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ(小節数は任意)を含める。暗譜でなくてもよい)

※音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

ドラムス

設置機材：ドラムセット

YAMAHA Birch Custom

サイズ BD : 22 TT : 10,12 FT : 16 SD : 14

Ride : Zildjian Medium 20

Crash : Zildjian Medium Thin 16,18

HH : Zildjian New Beat 14

1) 基礎打ち

シングルストローク、ダブルストローク、5ストロークを加速～減速で演奏すること。

※試験場において指定。

2) 課題曲

与えられたコード進行による演奏。

※61ページ「ジャズコース入試課題曲」参照。

3) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。暗譜でなくてもよい)

※音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

サクソフォーン

ソプラノ、アルト、テナー、バリトンのいずれも可。

1) スケール課題

※メジャースケールおよびマイナースケールの全調の中から、試験場において指定(マイナースケールはハーモニックマイナースケール)。8分音符で全音域を使いスラーで演奏(♩=120~160前後、暗譜)。

2) アルペジオ課題

次の譜例に従い、それぞれの楽器(E^b管、B^b管)の3つのKey(C、F、G)で演奏出来るようにしておくこと。その中から試験場において当日1つ指定。

3) 自由曲1曲

ジャズスタンダード曲から任意。アドリブ(暗譜でなくてもよい)を含めた4分程度の演奏。

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

トランペット

1) スケール課題

※次の譜例に従いin B^bで3つのKey(C、E、F)で演奏出来るようにしておくこと。その中から試験場において当日1つ指定(♩=120前後、暗譜)。

① メジャースケール in B^b

② ハーモニックマイナースケール in B^b

2) 自由曲1曲

ジャズスタンダードから任意。アドリブ(暗譜でなくてもよい)を含めた4分程度の演奏。

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

トロンボーン

1) スケール課題

※次の譜例に従い、3つのKey(B^b、D、E^b)で演奏出来るようにしておくこと。その中から試験場において当日1つ指定(♩=120前後、暗譜)。

① メジャースケール

② ハーモニックマイナースケール

昭和音楽大学
短期大学部

音楽科

デジタル
ミュージックコース

声楽コース

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦管打楽器コース

ウイバソフォニーコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

バレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

2) 自由曲 1 曲

ジャズスタンダードから任意。アドリブ（暗譜でなくてもよい）を含めた 4 分程度の演奏。

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いた Audio CD または音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

ヴォーカル

1) 反復歌唱

※ピアノで演奏されたメロディー（長調または短調）を聴き取り（2小節程度、1オクターヴ半の範囲）、そのメロディーの反復唱（「ラ」で歌唱）を行う。その後で、そのメロディーの移調唱を行う（1回）。

2) 自由曲 1 曲

（試験時の演奏時間は 4 分程度とする。ジャズスタンダード曲。アドリブ（小節数は任意）を含める。原語で暗譜）

※伴奏付き。伴奏の種類は、ピアノ伴奏または音源による伴奏とする。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合はヴォーカル（主旋律）を抜いた Audio CD または音源ファイルを出願時に提出。ピアノ伴奏者は大学が用意する。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。ただし、ピアノまたはギターによる弾き語りも可（伴奏譜の提出は不要）。マイクの使用は不可。

※メディアの返却はしません。

ジャズコース入試課題曲

(ピアノ)

F Blues

Medium Swing ♩=120

Comping

F 7 B^b 7 F 7 F 7

B^b 7 B^b 7 F 7 Am7 D 7

Gm7 C 7 F 7 D 7 Gm7 C 7

Solo

F 7 B^b 7 F 7 F 7

B^b 7 B^b 7 F 7 Am7 D 7

Gm7 C 7 F 7 D 7 Gm7 C 7 F 7

当日は、リズムトラック（ウェブサイトよりダウンロード可）に合わせた演奏。暗譜でなくてもよい。

ピアノ  デジタルブックではここをクリックすると、リズムトラックを聴くことができます。

ジャズコース入試課題曲

(ギター)

F Blues

Medium Swing ♩=120

Backing

Solo

当日は、リズムトラック（ウェブサイトよりダウンロード可）に合わせての演奏。暗譜でなくてもよい。

ギター



デジタルブックではここをクリックすると、リズムトラックを聴くことができます。

(ベース、ドラムス)

F Blues

Medium Swing ♩=120

当日は、リズムトラック（ウェブサイトよりダウンロード可）に合わせての演奏。暗譜でなくてもよい。

ベース



デジタルブックではここをクリックすると、リズムトラックを聴くことができます。

ドラムス



昭和音楽大学
短期大学部

音楽科

デジタル
ミュージックコース

声楽コース

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦・管・打楽器コース

ウイバソフオーコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

パレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

10 ポップ&ロックミュージックコース

(入学者選抜科目の見方)
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	同時出願	特待・学校推薦型	特待生(1ヶ月)	学校推薦型	一般	同時出願一般
1 主科実技課題	下記の「主科実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択すること(62~65ページ)。 ※入学後に主専攻とする演奏実技で受験すること。	※ピアノ、ドラムセットなど大型楽器以外は各自持参すること。 ※自由曲において4分を超える場合は、演奏の途中で止めることがある。 ※ドラムスのセッティングの変更は最小限にとどめること。	○	○	○	○	○	○	○
2 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参照。			○	○				
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○				○
5 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。						○	○

主科実技課題詳細(楽器別)

※楽器・機材は当日のコンディションによって別のものを用意する場合がある。

ピアノ

- 1) 課題曲
与えられたコード進行による演奏。
(両手伴奏スタイルによるコードバックিং。決められたリズム以外は自由)
※64ページ「ポップ&ロックミュージックコース入試課題曲」参照。
- 2) 自由曲1曲
(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。自作の曲またはアドリブを含ませてもよい。暗譜でなくてもよい)
※ソロ演奏または音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。
※メディアの返却はしません。

ギター

設置機材：ギターアンプ
Roland JC-120、Fender Hot Rod Deluxe、
Fender Blues Junior、
Marshall (ヘッド：JVM205H キャビネット：1960A)

- 1) 課題曲
与えられたコード進行による演奏。(コードバックিং。決められたリズム以外は自由)
※65ページ「ポップ&ロックミュージックコース入試課題曲」参照。
- 2) 自由曲1曲
(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。アドリブを含ませてもよい。暗譜でなくてもよい)
※ソロ演奏または音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。
※メディアの返却はしません。

ベース

設置機材：ベースアンプ

ヘッド：agUILAR TONE HAMMER 350、AMPEG B2-RE

キャビネット：AMPEG SVT810E

1) 課題曲

与えられたコード進行による演奏。(ベースラインを演奏。決められたリズム以外は自由)

※65ページ「ポップ&ロックミュージックコース入試課題曲」参照。

2) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。アドリブを含ませてもよい。暗譜でなくてもよい)

※音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

ドラムス

設置機材：ドラムセット

YAMAHA Birch Custom

サイズ BD:22 TT:10,12 FT:16 SD:14

Ride:Zildjian Medium 20

Crash:Zildjian Medium Thin 16,18

HH:Zildjian New Beat 14

1) 基礎打ち

シングルストローク、ダブルストローク、5ストロークを加速～減速で演奏すること。

※試験場において指定。

2) リズムパターン演奏

♩=120、16小節、クリックに合わせて演奏すること。

内容は自由。

3) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。暗譜でなくてもよい)

※音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

パーカッション

設置機材：コンガ、パンディエロ、ティンパレス、ジャンベ、カホン

1) 課題

コンガ、パンディエロ、ティンパレス、ジャンベ、カホンの中からひとつ選び、16小節のパターンを自由演奏。テンポは自由。

2) 自由曲1曲

(少なくとも3つの楽器を使用すること。コンガ、パンディエロ、ティンパレス、ジャンベ、カホン以外の楽器は各自持参すること。試験時の演奏時間は4分程度とする。暗譜でなくてもよい)

※ソロ演奏または音源による伴奏付き(演奏するパートが含まれていても構わない)。音源の場合は、Audio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC。提出するメディアの種類はCD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

サクソフォーン

ソプラノ、アルト、テナー、バリトンのいずれも可。

1) スケール課題

※次の譜例に従い、全調(12Key)で演奏出来るようにしておくこと。

その中から試験場において1つ指定(♩=120~160前後、暗譜)。

① メジャースケール

② ハーモニックマイナースケール

2) 自由曲1曲

ポピュラーまたはジャズスタンダード曲から任意の1曲。試験時の演奏時間は4分程度とする。(暗譜でなくてもよい)

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

トランペット

1) 課題

次の譜例に従い演奏すること。実音でDm、Em、Fmの中から試験場において指定。暗譜。

2) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ(小節数は任意)を含める。暗譜でなくてもよい)

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

昭和音楽大学
短期大学部

音楽科

デジタル
ミュージックコース

声楽コース

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦管打楽器コース

ウイバソフォニーコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

バレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

トロンボーン

1) 課題

次の譜例に従い演奏すること。Dm、E^bm、Fmの中から試験場において指定。暗譜。

2) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ジャズスタンダードまたはポピュラー曲。アドリブ(小節数は任意)を含める。暗譜でなくてもよい)

※ソロ演奏または音源による伴奏付き。音源の場合は、演奏する楽器を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。

※メディアの返却はしません。

ヴォーカル

1) 反復歌唱

※ピアノで演奏されたメロディー(長調または短調)を聴き取り(2小節程度、1オクターヴ半の範囲)、そのメロディーの反復唱(「ラ」で歌唱)を行う。その後で、そのメロディーの移調唱を行う(1回)。

2) 自由曲1曲

(試験時の演奏時間は4分程度とする。ポピュラー曲が望ましい。暗譜)

※伴奏付き。伴奏の種類は、ピアノ伴奏または音源による伴奏とする。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合はヴォーカル(主旋律)を抜いたAudio CDまたは音源ファイルを出願時に提出。ピアノ伴奏者は大学が用意する。ファイル形式は、WAVE、AIFF、MP3、AAC、提出するメディアの種類は、CD-R、USBフラッシュドライブ、SDメモリーカードのいずれか。ただし、ピアノまたはギターによる弾き語りも可(伴奏譜の提出は不要)。マイクの使用は不可。

※メディアの返却はしません。

ポップ & ロックミュージックコース入試課題曲

(ピアノ)

当日は、リズムトラック(ウェブサイトよりダウンロード可)に合わせての演奏。暗譜でなくてもよい。

ピアノ



デジタルブックではここをクリックすると、リズムトラックを聴くことができます。

ポップ & ロックミュージックコース 入試課題曲

(ギター)

♩ = 114 8beat

ワン ツー スリー フォー

A

C Maj7 Dm7 Em7 Dm7

F Maj7 Em7 A7 Dm7 D7(9) Cadd9

B

F Fm C Maj7 A7 D7(9)

D7(9) G7 C Maj7 C#dim Dm7 E/G C Maj7

C Maj7

当日は、リズムトラック（ウェブサイトよりダウンロード可）に合わせての演奏。暗譜でなくてもよい。

ギター



デジタルブックではここをクリックすると、リズムトラックを聴くことができます。

(ベース)

♩ = 120 8beat

ワン ツー スリー フォー

F A7 Dm7 Cm7 F

Bb Maj7 Bb Maj7 Am7 D7

Gm7 Gm7 C7 C7

F

当日は、リズムトラック（ウェブサイトよりダウンロード可）に合わせての演奏。暗譜でなくてもよい。

ベース



デジタルブックではここをクリックすると、リズムトラックを聴くことができます。

昭和音楽大学
短期大学部

音楽科

デジタル
ミュージックコース

声楽コース

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦管打楽器コース

ウイバソフォニーコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

バレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

11 バレエコース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入 学 者 選 抜 科 目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願 特 待 生 学 校 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願 特 待 生 一 般
1 主科実技課題	レッスン形式（パートとセンター、ポアント）	※ポアントは女性のみ。	○	○	○	○	○	○
2 主科面接	主科に対する試問（出願書類に関する内容を含む）		○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記（書籍）を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない）。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○	○			
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○	○			○
5 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)~(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は 71ページ を参照。					○	○

12 音楽教養コース

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者 選抜科目	内 容	注 記	総 合 型	同 時 出 願	特 待 生 校 推 薦 型	特 待 生 (11月)	学 校 推 薦 型	一 般	同 時 出 願	特 待 生 一 般
1 実技課題	次の(1)～(7)のいずれか1つを受験すること。 (1) ピアノ 自由曲1曲(繰り返しなし、暗譜でなくてもよい) (2) 弦・管・打楽器 「弦・管・打楽器コース」の楽器から1つを選択し、任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏すること。 (暗譜でなくてもよい) (3) 声楽(クラシック音楽) 自由曲1曲。原語で歌う(暗譜でなくてもよい)。 (4) 電子オルガン 自由曲1曲(暗譜でなくてもよい) (5) ジャズ 42ページの「実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択。 (6) ポピュラー音楽 43ページの「実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択。 (7) バレエ レッスン形式(パーとセンター)	※(2) 弦管打楽器で受験する場合、受験曲の演奏には伴奏をつけな し。 ※(3) 声楽で受験する場合、出願時 に伴奏譜を提出すること。ピア ノ伴奏者は大学が用意する。 ※(4) 電子オルガンで受験する場合、 51ページ電子オルガンコースの 注記を必ず確認すること。 ※(1)～(6)については演奏の途中 で止める場合がある。 ※受験した実技科目が入学後、主 専攻となります。	○	○	○	○	○	○	○	○
2 音楽教養 面接	音楽との関わり、音楽体験に対する試問 (出願書類に関する内容を含む)	※音楽教養コースで学ぶことへの 意欲と関心の度合いを重視する。	○	○	○	○	○	○	○	○
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍) を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の 作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項 目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく 準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は71ページを参 照。				○	○				
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接				○	○				○
5 一般科目	次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。 (1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択 して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニ ケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文 を除く)(45分) (c) 小論文(60分) (2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報	※本学で行う「国語」には、記述 式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用 する場合、「国語」「地理歴史」 「公民」「数学」「理科」「外国語」 「情報」について、受験した科 目のうち最も高得点の科目を合 否判定に使用。判定の際、各科 目を100点満点に換算。合否判 定に使用できる科目の詳細は71 ページを参照。							○	○

昭和音楽大学
短期大学部

音楽科

デジタル
ミュージックコース

声楽コース

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦・管・打楽器コース

ウイバソフォニーコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

バレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

13 音楽と社会コース (主にシニア世代の方を対象としたコースです)

〈入学者選抜科目の見方〉
各入学者選抜科目の○が
受験科目です。

入学者選抜科目	内容	注記	総合型	特待生(11月)	一般	同特待出願一般	
1 主科に関わる課題	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択して受験すること。 ※特待生選抜は(1)で受験すること。</p> <p>(1) 音楽実技 次の(a)～(f)のいずれか1つを選択。 (a) ピアノ 自由曲1曲(繰り返しなし、暗譜でなくてもよい) (b) 弦・管・打楽器 「弦・管・打楽器コース」の楽器から1つを選択し、任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏すること。(暗譜でなくてもよい) (c) 声楽(クラシック音楽) 自由曲1曲。原語で歌う(暗譜でなくてもよい)。 (d) 電子オルガン 自由曲1曲(暗譜でなくてもよい) (e) ジャズ 42ページの「実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択。 (f) ポピュラー音楽 43ページの「実技課題詳細(楽器別)」の中からいずれかを選択。</p> <p>(2) 作文 自己の音楽経験に関連した内容について、当日自由に筆記(60分・800字以内)</p>	<p>※(b)弦・管・打楽器で受験する場合、受験曲の演奏には伴奏をつけない。 ※(c)声楽で受験する場合、ピアノ伴奏者は大学が用意する。出願時に伴奏譜を提出すること。 ※(d)電子オルガンで受験する場合、51ページ電子オルガンコースの注記を必ず確認すること。 ※(1)については演奏の途中で止める場合がある。</p>	○	○	○	○	
2 主科面接	主科に対する試問(出願書類に関する内容を含む)		○	○	○	○	
3 特待生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記(書籍)を読んだ上で、試験当日に作文を書くこと。伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る(辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない)。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。詳細は 71ページ を参照。			○			
4 特待生面接	特待生にふさわしい人物、専門への意欲を見るための面接			○		○	
5 一般科目	<p>次の(1)または(2)のいずれかを選択すること。</p> <p>(1) 本学で行う次の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験。 (a) 英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」(45分) (b) 国語「現代の国語」、「言語文化」(ただし古文・漢文を除く)(45分) (c) 小論文(60分)</p> <p>(2) 大学入学共通テストの成績を利用する。 次の(a)～(g)の中から1科目を採用。 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語 (g) 情報</p>	<p>※本学で行う「国語」には、記述式問題を含む。 ※大学入学共通テストの成績を利用する場合、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目を100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細は71ページを参照。</p>				○	○

昭和音楽大学
短期大学部

音楽科

デジタル
ミュージックコース

声乐コース

声とことばの
創造表現コース

合唱指導者コース

ピアノコース

電子オルガンコース

弦・管・打楽器コース

ウイバソフォニーコース

ジャズコース

ポップ&ロック
ミュージックコース

バレエコース

音楽教養コース

音楽と社会コース

「聴音」「コールユーブンゲン」「新曲視唱」の試験実施方法

聴音

旋律聴音

- ① 最初に主和音を与える。
- ② 次にテンポを与える。
- ③ ピアノによる演奏は下記のように行う。

- A. 最初に全体を通して演奏する。(1回)
- B. 次に4小節毎に区切り、いずれも約20秒間隔で4回演奏し、4回目には次の4小節に続けて同様に演奏する。
- C. 最後に全体を通して演奏する。(1回)
- D. その後約2分間を与える。



実施(演奏)方法

- A. 通奏 _____
- B. 1 _____
- 2 _____
- 3 _____
- 4 _____
- C. 通奏 _____
- D. 約2分間



実施(演奏)方法

- A. 通奏 _____
- B. 1 _____
- 2 _____
- 3 _____
- 4 _____
- C. 通奏 _____
- D. 約2分間

和声聴音

- ① 最初に主音を与える。
- ② 次にテンポを与える。
- ③ ピアノによる演奏は下記のように行う。

- A. 全体を約15秒間隔で6回通して演奏する。
- B. その後約2分間を与える。

(例)



コールユーブンゲン

- ① 最初に主和音を与える。
- ② 次に開始音を与える。

※楽譜は試験場で大学が用意する。

新曲視唱 予見1分間

- ① 最初に主和音を与える。
- ② 次に開始音を与える。



特待生作文

- (1) 次に指定する作曲家のうち一人を選び、事前にその伝記（書籍）を読むこと。
伝記は単独の作曲家について出版された書籍に限る（辞書・事典類の項目および楽曲解説書は認めない）。
- (2) 試験当日、次に示す課題の作文を書くこと。持込不可。事前によく準備して臨むこと。試験時間は45分。

作曲家名	J. S. バッハ G. ヴェルディ C. ドビュッシー	W. A. モーツァルト R. ワーグナー G. ガーシュイン	L. v. ベートーヴェン P. I. チャイコフスキー A. シェーンベルク	F. ショパン A. ドヴォルジャーク 武満徹
作文課題	伝記に書かれている作曲家の人生における出来事や生き方等を取り上げ、あなたが気づいたことやそこから学んだこと、およびそれらを自分の専門分野において今後どのように生かしたいと考えたかを述べなさい。なお、作文には、読んだ書籍の著者名、書名、出版社名を記し、自分で考えたタイトルを付け、本文中に作曲家の出身地や活躍地、生きた時代や当時の状況、代表的な作品、これらを必ず含めること。			
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝記の著者名・書名・出版社名、作文のタイトルは所定の欄に記す。 ● 本文は800字以上840字以内で書くこととし、20字×42行（840字）の原稿用紙1枚を横書きで使用する。 ● 英数字は1マスに2文字記入する。 ● 人名表記は書籍に合わせてよい（例：ベートーベン、ヴァーグナー、ガーシュウィン等）。 			

特待生選考 (総合型選抜)

総合型選抜の結果、特に成績優秀な者については特待生の候補者として指名される場合があります。候補者には本学から選考の連絡をします。その後、別日程（ただし、第5回総合型選抜のみ当日）にて特待生選考試験を実施します。

- 第1回・第2回・第4回総合型選抜受験後に特待生候補者となった場合の特待生選考試験科目
 1. 特待生作文（上記、特待生作文課題を確認のこと／45分）
 2. 特待生面接
- 第3回総合型選抜受験後に特待生候補者となった場合の特待生選考試験科目
 1. 一般科目 次の中から1科目を選択
英語「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」（45分）
国語「現代の国語」、「言語文化」〈古文・漢文を除く〉(45分)
小論文（60分）
 2. 特待生面接
- 第5回総合型選抜受験日当日に特待生候補者となった場合の特待生選考試験科目
 1. 特待生作文（当日指定する課題をもとに作文を書く／60分）
 2. 特待生面接

一般選抜 | 大学入学共通テストの利用について

本学の一般選抜においては、本学で行う「一般科目」の代わりに、大学入学共通テストの成績を利用することができます。

- ① 令和4～7年度大学入学共通テストの成績を利用することができます。

〈利用方法〉

一般選抜においては、一般科目に代えて大学入学共通テストの成績を利用することができます（最も高得点の1科目が対象）。志願票の所定欄に成績請求票「私立大学・公私立短期大学用」を貼り付けてください。

■大学入学共通テスト成績利用の場合

（旧教育課程履修者については経過措置科目を、令和4～6年度の成績については当該年度の科目を適用します。）

国語	古文・漢文をのぞく
地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』（※） 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』
数学	①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ』 ②『数学Ⅱ、数学B、数学C』
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※）、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 *英語選択の場合、リスニングを含む
情報	『情報Ⅰ』

（※）選択した2科目の合計点を使用する

- 「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」について、受験した科目のうち最も高得点の1科目を100点満点に換算して合否判定に使用。ただし、「地理歴史」「公民」「理科」において、同一教科内で2科目受験した場合は第1解答科目の得点を採用。
- 大学入学共通テストの出願方法や実施日等の詳細は、大学入試センターから発行される案内を参照してください。

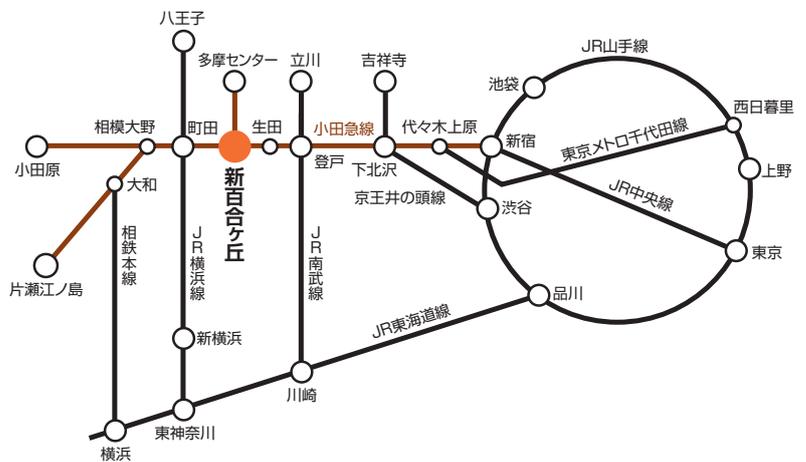
キャンパスのご案内

キャンパス周辺マップ



路線図

- ▶新宿駅から 22分
(小田急線 快速急行利用時)
- ▶渋谷駅から 25分
(下北沢駅乗換 井の頭線急行・小田急線快速急行利用時)
- ▶川崎駅から 35分
(登戸駅乗換 南武線快速・小田急線快速急行利用時)
- ▶横浜駅から 44分
(大和駅乗換 相鉄本線特急・小田急線快速急行利用時)
- ▶八王子駅から 42分
(町田駅乗換 横浜線快速・小田急線急行利用時)
- ▶小田原駅から 56分
(海老名駅乗換 特急ロマンスカー・小田急線快速急行利用時)



※所要時間は小田急線快速急行利用による日中平常時。乗り換え、待ち時間は含みません。
 † 羽田空港から 羽田空港—新百合ヶ丘間(約70分)で、直行バスが運行されています。
 (運行会社：京浜急行バス、小田急バス)



昭和音楽大学 昭和音楽大学短期大学部

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1 ☎0120-86-6606 (入試広報室 直通)
 URL <https://www.tosei-showa-music.ac.jp> E-mail nyushi@tosei-showa-music.ac.jp